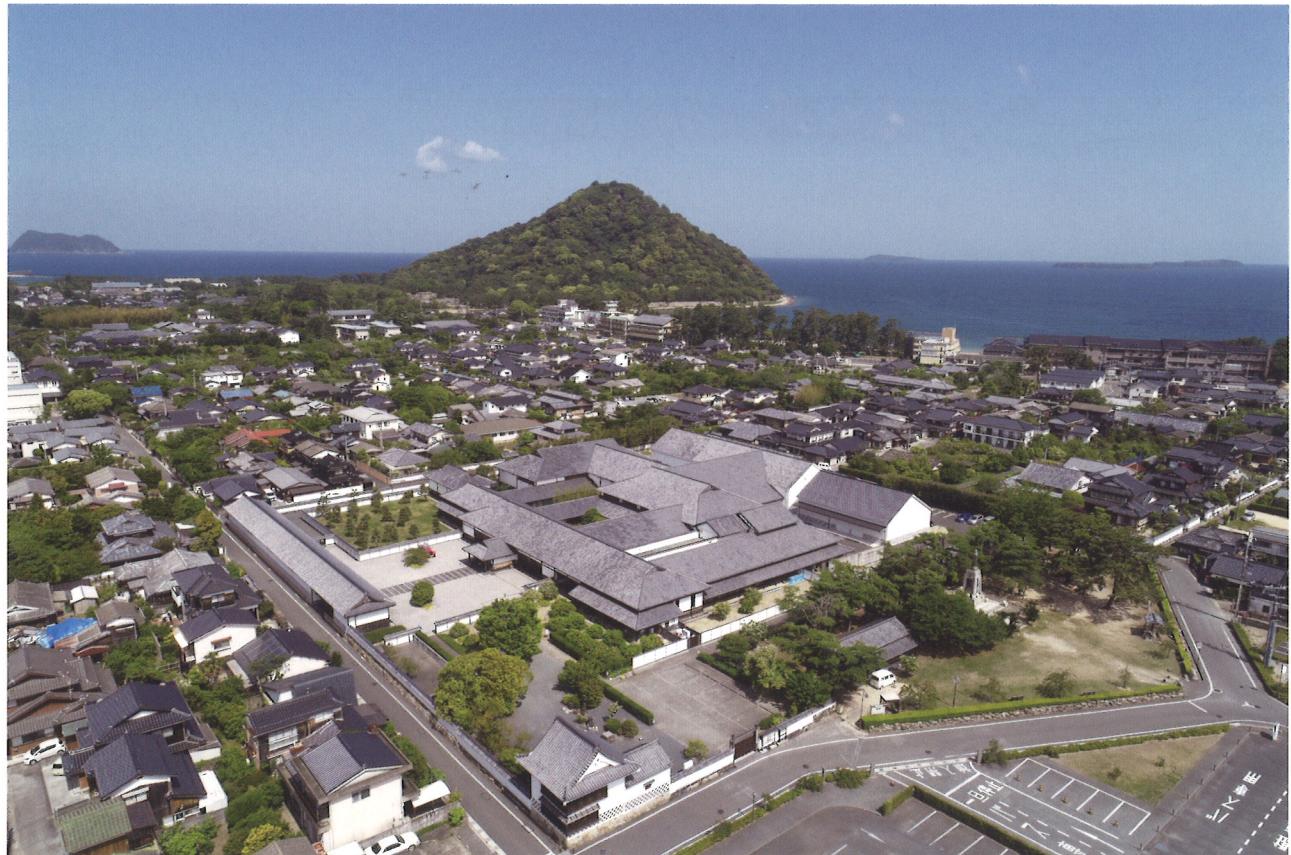


# 萩博物館開館15周年記念誌 5年間の歩み

平成27年～令和元年



萩博物館



萩博物館開館15周年記念誌

# 5年間の歩み

平成27年～令和元年

Hag i H a k u b u t s u k a n  
萩博物館



# 萩博物館開館15周年記念誌

## 5年間の歩み

### 目 次

開館15周年を迎えて	4
1. 施設の概要	5
2. 管理・運営体制の概要	5
3. 開館15年間の歩み	6
4. 常設展示のリニューアル	9
5. 特別展・企画展等の概要	12
6. 入館者数の推移	32
7. 教育普及活動	34
8. 収集・保管活動	41
9. 調査・研究活動	43
10. まちじゅう博物館とのかかわり	45
11. 今後の課題	45



隅矢倉

# 開館15周年を迎えて



萩博物館は、萩開府400年の記念の年に当たる平成16年（2004）11月11日に「萩まちじゅう博物館」の中核施設として開館しました。

開館からこれまでに約155万人のみなさまが萩博物館に足を運んでくださいました。この間には萩の歴史、文化、自然などをテーマとした78件の特別展・企画展、25件のテーマ展を開催した他、数々の関連行事なども行ってまいりました。

この間には、平成17年の市町村合併により当館の対象エリアも拡大した他、平成27年には「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録され、当館はその構成資産である「萩城下町」の中心に位置することになりました。また、平成29年には旧萩藩校明倫館跡にあった旧明倫小学校を改修し、萩観光の拠点として萩・明倫学舎がオープンしました。また、日本の社会を見渡しても地域のまちづくりや観光の中で、文化財や博物館はその中核として多くの期待が寄せられ、当館が地域社会の中で果たす役割が格段に大きくなりました。

こうした状況を踏まえ、より充実した萩に関する展示を行うために、当館の常設展示室を全面リニューアルするとともに、エントランス脇の無料ゾーンには探Qはぎ博、キッズはぎはく、まち歩きステーションはぎ博などの新しい活動のためのスペースを整備し、開館15周年を迎える令和2年春より公開を開始しました。一方で、同じ頃に新型コロナウイルス感染症が世界を席巻し、当館も二度にわたる臨時休館に追い込まれ、入場制限など各種感染症対策に館をあげて取り組むなど、これまでにない苦難の年となりましたが、その中にあってもさまざまな試みがはじまり、新しい時代の到来を予感します。

こうした当館を取り巻く状況が大きく変化する中、今後の萩博物館の展開を考えるにあたっては、その原点を見つめることから始まります。

萩博物館は、地域博物館であるとともに、開館と同時に始まった「萩まちじゅう博物館」の中核施設でもあります。この取組みは、萩のまち全体を屋根のないひとつの博物館と捉え、それぞれの地域にある萩のおたから（文化遺産）を市民ぐるみで保存・活用しようというまちづくりの取組みです。この度、取組みから15年を経過した萩まちじゅう博物館構想が全面的に改定され、萩博物館はこれまでの実績に加え、より深く多彩な活動が求められています。

活動にあたっては、開館以来、当館の管理運営、各種のボランティア活動、学芸サポート活動と一緒に進め、萩のおたからの再発見やまち歩きを実践してきたNPO萩まちじゅう博物館との協働をより一層深める必要があります。加えて、当館の活動を、より社会に求められ、持続したものとしていくために、萩のそれぞれの地域に目を向け、地域活動とも協働するとともに、萩市内外の団体や事業者などとも連携し、当館だけではできないことを実現していくことを目指します。

萩博物館は開館15周年を迎えました。今後も市民に愛される地域博物館として、萩に関わる資料の収集・保管、調査・研究などを進めるとともに、特別展・企画展をはじめとする各種展示により、その成果を社会に還元してまいります。さらには、萩まちじゅう博物館の中核施設として、萩に展開するおたからを再発見し、いかすため、地域づくり、生涯学習、学校教育などの活動において地域との協働を進めてまいります。

日本も萩も大きな変革期にあり、萩博物館はこれまで以上に大きな役割が期待される中、開館20周年に向けて着実に歩みを進めてまいります。

萩博物館長

## 1. 施設の概要

萩博物館は平成16年（2004）11月11日萩藩主毛利家の一門にあたる大野毛利家の上屋敷に建設された。博物館の敷地が、旧萩城三の丸にあたる堀内伝統的建造物群保存地区にあることから、建物の配置や概観はかつてこの地区内にあった規模の大きな武家屋敷にならって設計した。

博物館本体の構造は鉄筋コンクリート造であるが、内外装・造作には木材を多く使用。特に外壁は漆喰壁、なまこ壁、杉板下見板張り壁で、伝統的建造物群保存地区にあって違和感のないよう配慮している。敷地周囲には隅矢倉、長屋門、土塀などを配し、通りからの景観についても周辺との調和を図っている。

### 敷地と各建物の面積

博物館敷地	.....	14,447m <sup>2</sup>
博物館本体		
（平屋建て、一部2階建て）	.....	4,268m <sup>2</sup>
長屋門（平屋建て）	.....	349m <sup>2</sup>
隅矢倉（2階建て）	.....	95m <sup>2</sup>
長屋（平屋建て）	.....	198m <sup>2</sup>

### 博物館本体各室等の面積

#### 管理部門

事務室	.....	185m <sup>2</sup>
書庫	.....	72m <sup>2</sup>
応接室	.....	24m <sup>2</sup>
特別資料調査室	.....	52m <sup>2</sup>
資料整理作業室	.....	63m <sup>2</sup>

#### 展示部門

歴史展示室	.....	491m <sup>2</sup>
萩学コーナー（令和2年3月まで）	.....	208m <sup>2</sup>
人と自然の展示室		
（令和2年4月から）	.....	204m <sup>2</sup>
高杉晋作史料室	.....	104m <sup>2</sup>
いきもの発見ギャラリー		
（令和2年3月まで）	.....	134m <sup>2</sup>
探Qはぎ博（令和2年4月から）	.....	138m <sup>2</sup>
企画展示室	.....	227m <sup>2</sup>

### 収蔵部門

特別収蔵庫	.....	48m <sup>2</sup>
一般収蔵庫1（人文系）	.....	241m <sup>2</sup>
一般収蔵庫2（自然系）	.....	96m <sup>2</sup>
一時保管庫	.....	36m <sup>2</sup>
第2収蔵庫	.....	534m <sup>2</sup>
人文系	.....	350m <sup>2</sup>
自然系	.....	170m <sup>2</sup>

### 教育普及部門

講座室	.....	97m <sup>2</sup>
体験学習室	.....	67m <sup>2</sup>
天体観望室	.....	34m <sup>2</sup>
エントランスホール	.....	496m <sup>2</sup>
※ショップスペースを含む		
レストラン	.....	76m <sup>2</sup>
※厨房を含む		

## 2. 管理・運営体制の概要

萩博物館の運営は、萩市職員とNPO萩まちじゅう博物館が協働で行っている。萩市職員の構成と、萩市がNPO萩まちじゅう博物館へ委託している業務は令和2年度時点で以下のとおりである。

### 萩市職員

館長

学芸班：歴史担当4名（内2名嘱託）、民俗担当

2名、生物担当3名、天文指導員2名

庶務係：2名

### NPO萩まちじゅう博物館への委託業務

受付、案内、展示ガイド、清掃、守衛

### 3. 開館15年間の歩み

#### ■開館～現在まで

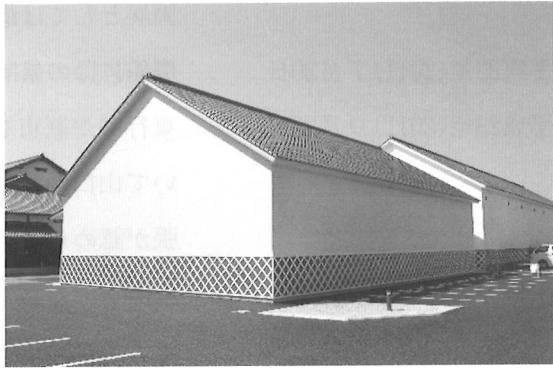
平成16年(2004)11月11日	萩開府400年を記念して開館、高杉晋作資料室を併設
平成17年(2005)7月7日	優良木造施設林野庁長官賞を受賞
平成17年(2005)7月20日	開館以降の累計入館者が10万人を突破
平成17年(2005)10月8日	「ボランティアメッセ2005」を当館で開催
平成17年(2005)10月25日	開館時より設置の移動式ハンズオン展示物「萩学なんでもボックス」がグッドデザイン賞を受賞
平成17年(2005)11月28日	手づくり郷土賞「地域整備部門」に認定
平成18年(2006)4月8日	国際シンポジウム「海を渡った長州砲」を開催
平成18年(2006)8月5日	小泉純一郎首相が来館
平成18年(2006)8月29日	開館以降の累計入館者数が20万人を突破
平成19年(2007)8月8日	開館以降の累計入館者数が30万人を突破
平成19年(2007)9月14日	常設展示室のうち歴史展示室(491m <sup>2</sup> )をリニューアルオープン
平成19年(2007)11月11日	エントランスの一角に「いきもの発見ギャラリー」をオープン
平成19年(2007)11月16日	第48回建築業協会賞を受賞
平成20年(2008)8月26日	開館以降の累計入館者数が40万人を突破
平成20年(2008)8月28日	イギリスから借用した「長州砲」を一般公開(平成21年5月31日まで)
平成20年(2008)9月2日	萩市・下関市・東行庵の三者間で、萩博物館に寄託の高杉晋作資料のうち、萩市ゆかりの69点は引き続き萩市へ寄託、下関市ゆかりの158点は東行庵へ移管することを合意
平成20年(2008)11月	「萩まちじゅう博物館」をモデルとした観光開発支援のため、萩博物館学芸員をヨルダンに派遣(平成27年12月までに計8回派遣)(JICA技術協力プロジェクト)
平成21年(2009)2月	平成20年度夏期特別展「風雲！昆虫城～カブトムシたちの戦記～」のPR番組が第54回山口県広報コンクールで特選を受賞
平成21年(2009)8月25日	開館以降の累計入館者数が50万人を突破
平成21年(2009)11月11日	開館5周年を記念して全館を無料公開
平成22年(2010)3月9日	東行庵が萩市と高杉晋作の子孫に対し、萩博物館に寄託の高杉晋作資料69点の返還を求めて訴訟を提起
平成22年(2010)5月25日	屋外展示場「石の小径」がオープン
平成22年(2010)8月20日	開館以降の累計入館者数が60万人を突破
平成22年(2010)9月5日	夏期特別展「2010年 UMAとの遭遇」の総入場者数が、開館以来の特別展・企

	画展としては最高の67,769人(1,042人／日)を記録
平成23年(2011) 7月20日	開館以降の累計入館者数が70万人を突破
平成23年(2011) 9月26日	東行庵が萩市を相手取り、高杉晋作資料69点の返還を求める民事訴訟について山口地裁下関支部は原告の請求をいずれも棄却。萩市と高杉家側の主張が認められる
平成24年(2012) 7月23日	開館以降の累計入館者数が80万人を突破
平成25年(2013) 1月15日	最高裁判所は東行庵の上告を棄却。萩市と高杉家の主張を認める判決が確定。
平成25年(2013) 5月12日	開館以降の累計入館者数が90万人を突破
平成25年(2013) 7月28日	萩市東部集中豪雨災害が発生。これより当館職員が断続的に須佐歴史民俗資料館などの被災資料の復旧作業支援を行う
平成26年(2014) 7月11日	開館以降の累計入館者数が100万人を突破
平成26年(2014) 9月20日	萩博物館開館10周年記念特別展・明治維新150年プレ展示「攘夷から倒幕へ、萩藩苦難の道—描かれた幕末の萩藩」開催
平成26年(2014) 11月11日	開館10周年を記念して全館を無料公開
平成26年(2014) 11月11日	平成26年度大河ドラマ「花燃ゆ」放送決定に伴い、特設展示室「兄松陰と妹文～杉家の家族愛～」を開設(平成28年12月4日まで)
平成27年(2015) 9月19日	同年7月5日に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に決定したことを受け、世界遺産登録記念企画展「明治日本の産業革命遺産と萩」を展示。同年11月29日まで
平成28年(2016) 9月25日	特設展示「兄松陰と妹文」展の会期予定(9月25日)を、好評につき12月4日まで延長
平成29年(2017) 10月31日	「萩の博物学の父」田中市郎の子孫、田中浩氏より館蔵剥製資料のための寄付を受けたことにより、萩における博物館の創設80周年記念および寄付受納式典をいきもの発見ギャラリーにて執り行う



平成30年(2018) 3月

平成27年度から整備に取り組んでいた新収蔵庫が完成



平成30年(2018) 9月15日

株式会社手塚プロダクションの協力のもと、明治維新150年記念特別展第1弾「手塚治虫が描いた明治維新」を開催。同年10月14日まで展示

平成30年(2018) 10月27日

明治維新150年記念特別展第2弾「長州ファイブ一幕末・海外留学生の軌跡」を開催

平成31年(2019) 2月24日

天皇陛下御在位30年記念の慶祝事業の一環として、全館を無料公開

令和元年(2019) 8月29日

開館以降の累計入館者数

が150万人を突破



令和元年(2019) 11月 9日

長州藩の藩校明倫館創建300年記念として特別展「長州藩校 明倫館—武士たちの学び舎—」を開催。令和元年11月30日・12月1日に開催された「第17回全国藩校サミット萩大会」の同時開催イベントのひとつ(令和2年1月5日まで開催)

令和元年(2019) 11月11日

開館15周年

令和2年(2020) 1月

開館15周年を記念して、常設展示等のリニューアル工事をおこなう

令和2年(2020) 3月 2日

常設展示リニューアルに伴い展示室を閉鎖。その後、3月16日にリニューアルオープン予定であったものの、新型コロナウイルス感染対策のため4月7日まで休館

令和2年(2020) 4月 8日

常設展示室の改変及び無料ゾーンに探Qはぎ博とまち歩きステーション萩博を新設し、リニューアルオープン

令和2年(2020) 4月18日

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受けて再び休館(5月14日まで)

令和2年(2020) 10月 1日

開館以降燻蒸日以外年中無休としていた休館日を変更

・一定期間の水曜日（休日の場合、翌日）／12月30日～翌年1月1日／

1月の第4水曜日～その翌々日／6月の第2水曜日～その翌々日

## 4. 常設展示のリニューアル

### 【令和2年1月までの常設展示の状況】

#### (1) 歴史展示室

慶長9年（1604）に毛利氏が萩に城を築いてから明治維新に至るまで、長州藩の260年の歴史の流れを重視。「藩主毛利氏と家臣」「参勤交代と江戸の藩邸」「城下町の成り立ち」「城下町のにぎわい」「城下町の祭り」「長州藩の藩政改革」「藩校明倫館」「ペリー来航と長州藩」「吉田松陰と松下村塾」「幕末萩の科学技術」「動乱の時代と長州藩」の11コーナーで構成。

平成19年度には、解説パネルや展示資料のキャプションを見やすく、分かりやすいものに改訂した。平成21年度には、主要な展示資料について英訳キャプションを設置した。



#### (2) 萩学コーナー

コーナー内には現在の萩市街地の大型航空写真を配置。そのそばには「幕末期の古地図」と「現在の写真」を並列し、互いに比較できるようにした。

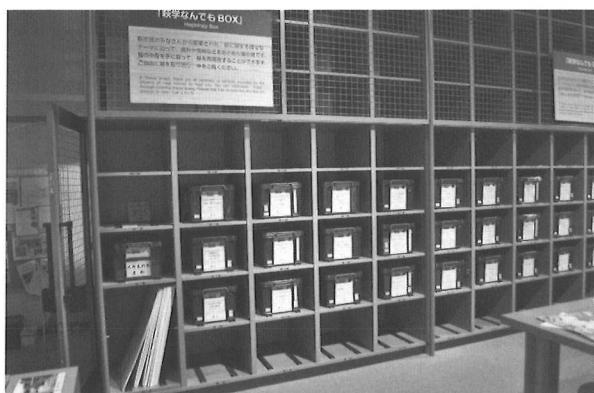
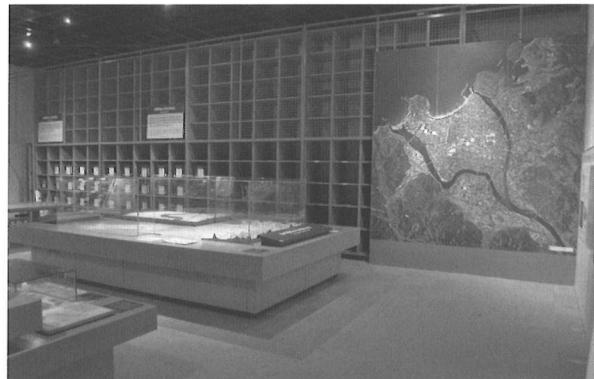
地形模型コーナーの中央部には「萩の海と大地の成り立ち」「海が語る萩」「石が語る萩」「夏みかんが語る萩」を配置し、萩の風土や人との関わりについて多角的に学べるように工夫。

北壁面の棚には、萩に関する様々なテーマに沿って、資料や情報など収めた持ち運び可能な「萩学なんでもボックス」を設置。来館者が箱を自由に取り出し、中身を手に取って萩を再発見できるようにした。

なお、「萩学なんでもBOX」は開館当初は18種類であったが、以後暫時追加し令和元年時点以下のようなラインナップとなっている。

- 1 明倫小学校のひみつ
- 2 松陰先生とその弟子たち

- 3 木が語る椿西
- 4 萩とフカの深い関係
- 5 これが木間神楽舞 神代の舞だ！！
- 6 眼鏡橋をつくろう
- 7 出土品から探る大井の歴史
- 8 大島の葉たばこと海の幸
- 9 大物の宝庫・見島
- 10 覗いてみよう萩のなかの西洋
- 11 「裂き織り」を着てみよう
- 12 萩焼ができるまで
- 13 松下村塾入門！
- 14 「幕末パン」のつくりかた
- 15 錦絵に見る萩ゆかりの人々
- 16 萩の火山のふしげ
- 17 萩の色
- 18 萩の竹
- 19 萩の今昔
- 20 萩の音



### (3) 高杉晋作資料室

高杉家からの寄贈資料を中心にテーマに沿って展示。晋作の激しくも短い生涯を紹介している。



### (4) いきもの発見ギャラリー

萩の鳥・昆虫・貝・魚などの標本数千点を展示。最奥部には「萩の博物学の父」田中市郎（1877-1946）が収集し、萩の歴代の博物館の礎となった標本の一部を通常公開した。



### (5) 萩の人物コーナー（回廊）

常設展示とエントランスホールをつなぐ西・南回廊には、幕末維新以降の「萩ゆかりの人びと」100人の人物紹介パネルを設置し、「政治・軍事」「経済・産業」「教育・文化」「萩地域貢献」の4つの分野ごとに掲示し、人物情報の充実と展示空間の有効活用を図った。人物紹介は継続的に追加を続け、平成27年度には110人分の解説シートを設置。



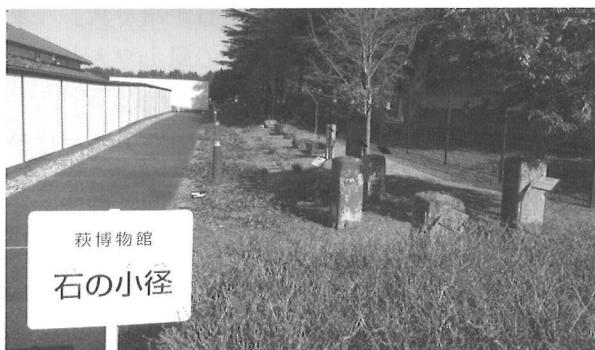
### (6) くらしのやかた（長屋門）

博物館敷地の南側にある長屋門の東半分は「くらしのやかた」と名付け、「親子でふれる昭和のくらし」の常設展示を行った。身近に使っていたくらしの道具類に触ることのできる展示にするとともに、小学校社会科の「昔のくらし」の単元などに活用できる展示とした。



### (7) 石の小径（屋外展示場）

博物館敷地の東側に、旧萩市立図書館前庭にあった旧萩市郷土博物館の屋外展示場の石造物等を平成21年度に移転。平成22年度から「石の小径」と名づけ屋外展示場としてオープンした。



### (8) エントランスホール

平成27年までエントランスホールにあった住吉祭りのお船山車を浜崎町旧小池家土蔵に移動させた。空いたスペースには、登録が決定した世界文

化遺産「明治日本の産業革命遺産—製鉄・製鋼・造船・石炭産業—」のパネル展示を設置した。

#### (9) まち博情報コーナー

エントランスの一角にて、町並みに隠された秘密を解説する「まちなみウォークスルー」や萩市内各地域のおたからマップなどを公開、観光客等がまちじゅうへ出かけるための情報を集めることができるよう工夫した。



#### 【令和2年3月にリニューアルした常設展示】

##### (1) 人と自然の展示室

旧「萩学コーナー」を改変し、「萩の博物学の父」故・田中市郎の生物標本コレクションや深海魚「リュウグウノツカイ」の標本などを展示。萩の自然環境と博物学のあゆみ、そして先人たちが紡いできた特色ある生活文化を紹介。



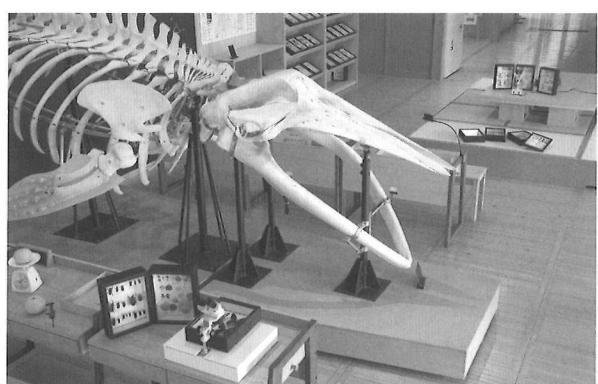
##### (2) 歴史展示室

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「萩城下町」の発展とその歴史的価値を物語る実物資料や模型などを展示。「明治維新」に関する展示も追加。

#### (3) 探Qはぎ博

旧いきもの発見ギャラリーを一新し、標本を見て、触れて、楽しみながら親子で探求・探究できる新スペースとして展開。室内には、未就学児とその保護者の専用スペース「キッズはぎはく」も設置した。

※2020年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、展示内容を変更しながら運用中。



#### (4) まち歩きステーションはぎ博

城下町散策の情報拠点として、エントランスの旧まち博情報コーナーを改変。市内20地区以上の「おたからマップ」など、まち歩きを楽しむための情報を集積している。変わらない「まち」のひみつを紹介するプロジェクトマッピングも設置した。



## 5. 特別展・企画展等の概要

### (1) 平成27年度以降の特別展・企画展

主に企画展示室、一部萩学コーナー（現人と自然の展示室）を利用して開催。

原則として、特別展は他館から借用した資料をもとに構成する展覧会、企画展は当館所蔵の資料をもとに構成する展覧会としている。

平成27年度は4回、平成28年度は5回、平成29年度は5回、平成30年度は6回、令和元年度は5回開催した。

#### ■平成27年度

##### 特別展「長州男児、愛の手紙～吉田松陰から盟友小田村伊之助へ 久坂玄瑞から妻文へ～」

会期／平成27年4月17日(金)

～6月21日(日)(66日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

#### 概要

小田村伊之助こと楫取素彦が保存していた盟友吉田松陰の手紙24通と、文こと楫取美和子が保存していた久坂玄瑞の手紙6通（「涙袖帖（るいしゅうじょう）」）を一挙公開した。

また、このほかに高杉晋作が妻マサにあてた手紙などを展示し、その思いと人間性に触れていただき、古文書の魅力にも触れていただく展示を行った。

担当／一坂太郎

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：5月3日(日・祝)、1回目10:30～、2回目  
14:00～



##### 特別展「べっぴん！美形いきもの帳～世にも美しい生物の秘密～」

会期／平成27年7月4日(土)

～9月6日(日)(65日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩、益田市教育委員会

共催／NPO萩まちじゅう博物館

協力／きしわだ自然資料館、千葉県立中央博物館、つやま自然のふしぎ館、独立行政法人国立科学博物館、山口県立山口博物館

#### 概要

世界や日本で「美しい！」と絶賛されたいきもの約500種類、標本・剥製・写真など約1500点を一堂に展示し、夏休みの親子連れ向けの体験型展示会とした。内容としては、山口県初公開の「世界一美しい鳥」ケツァール、萩の漁師が獲った幻の美白ア

マダイ「べっぴんさん」、空想の動物と考えられていたが実は存在した「白い百獣の王」ホワイトライオン、毒をあやつるカラフルな「美蝶」サルダナパルスミイロタテハなど。これらの生物達はなぜ美しいのか、どのように美しさを發揮するのか。本当の姿や生態を知っていく中でそれらと「友達」になり、真の美しさとは何かに気付いてもらえるような構成とした。

担当／堀 成夫・椋木博昭

関連行事／名称：ともだち認定クイズ

日 時：会期中の平日

場 所：萩博物館展示室

内 容：展示室でクイズ用紙を持って展示をめぐり、美しい生きもののひみつを解き明かす。



## 世界遺産登録記念企画展 「明治日本の産業革命遺産と萩」

会 期／平成27年9月19日(土)

～11月29日(日)(72日間)

後 援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

### 概 要

「明治日本の産業革命遺産」における萩の5資産の位置づけを紹介し、幕末の萩（長州）藩が取り組んだ工業化の試行錯誤の段階から、明治政府による工業化の実現へと至る一連の軌跡を明らかにする展示を行った。

担 当／道迫真吾

関連行事①

名 称：ギャラリートーク

日 時：9月19日(土)、10月17日(土)、11月21日(土)

14:00～

関連行事②

名 称：特別講座

日 時：10月3日(土) 13:30～

場 所：萩博物館講座室

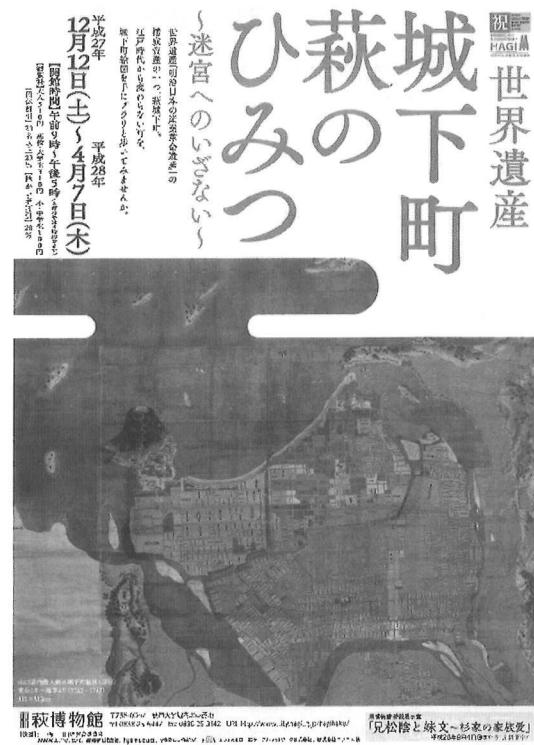
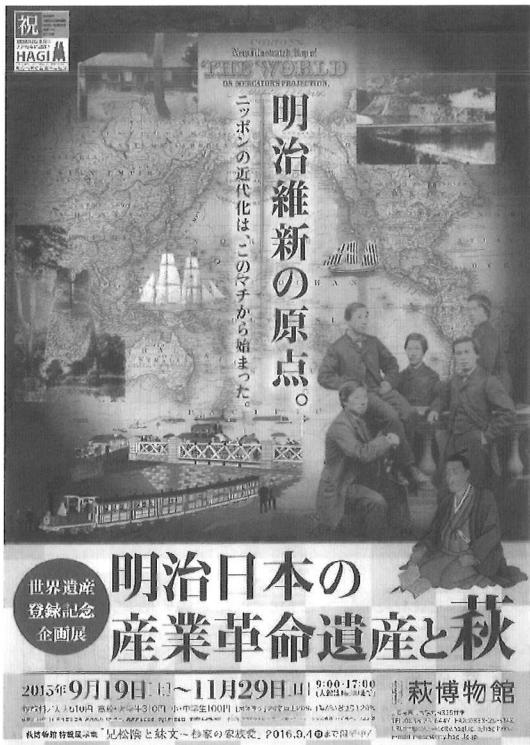
講 師：有馬 学氏（福岡市博物館長）

演 題：「明治日本の産業革命遺産」の過去・現在・未来

印刷 物／図録「明治日本の産業革命遺産」(B5判、80ページ2,000部)  
全23構成資産の解説、資料

世界遺産登録に至る記録

各論 萩の資産の歴史的経緯と価値



## 企画展「城下町・萩のひみつ ～迷宮へのいざない～」

**会期／**平成27年12月12日(土)  
～平成28年4月7日(木)(118日間)  
**後援／**山口県、山口県教育委員会、NHK山口  
放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、  
yab山口朝日放送、FMYエフエム  
山口、萩ケーブルネットワーク株式会  
社、株式会社エフエム萩

### 概要

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の  
一つである萩城下町。

江戸時代の城下町絵図を、現在も地図として用い  
ることができる城下町・萩は、江戸時代に形作られ  
た「まち」が、大きく改変されずに継承されている。  
なぜ「まち」が改変されなかったのか。「低湿地」「鉄  
道」「夏みかん」「災い」「ダム」をキーワードに、その  
ひみつを追い、今に息づく城下町を再発見する展  
示を実施し、併せてまち歩きを提案した。

**担当／**清水満幸

関連行事／名 称：ギャラリートーク＆萩再発見ツアー

日 時：2月13日(土)、3月12日(土)、4月2日(土)  
14:00～

■平成28年度

特別展「高杉晋作150年祭記念  
高杉晋作の恋文（ラブレター）」

会期／平成28年4月14日(木)

～5月8日(日)(25日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

協力／宮内庁書陵部、早稲田大学図書館

概要

高杉晋作没後150年記念(1867年4月14日没)として実施。

山口県初公開となる慶応2年(1866)4月5日、愛人うのあての晋作書簡(早稲田大学図書館蔵)を「超目玉」として、宮内庁書陵部が所蔵する「木戸家文書」中の晋作書簡(桂小五郎あて)等を展示了。

展示方法は「古文書」をいかに面白く見せるかを工夫することに努め、特に若い世代に人気のある脳科学者・中野信子さんに、晋作の愛人あての手紙などから読み解けるものをコメントいただいた。

担当／一坂太郎

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：4月14日(木)、4月29日(金・祝)、13:30～  
5月1日(日)、5月4日(水・祝)、10:30～、  
13:30～

印刷物／図録「高杉晋作の恋文（ラブレター）」(B5判、64ページ、2,000部)



企画展「城下町・萩のひみつⅡ  
～迷宮へのいざない～」

会期／平成28年5月14日(土)

～7月3日(日)(51日間)

概要

平成27年度開催の企画展の第2弾。江戸時代の城下町を起源とする「まち」が大きく改変されなかつたひみつを、「低湿地」「鉄道」「夏みかん」「災い」「ダム」をキーワードに解き明かす展示を実施した。

併せて、「まち」に暮らす人たちの「誇り」が、現在の世界遺産構成資産の保存や活用に結びついていることを紹介し、「まち」の価値の再発見と共有をはかった。

担当／清水満幸

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月11日(土)、6月25日(土)、  
14:00～

## 特別展 「衝撃！ビッグアニマル大接近 ～地球をゆるがす巨大動物たち～」

会期／平成28年7月15日(金)

～9月25日(日)(73日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、益田市教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

共催／NPO萩まちじゅう博物館

協力／大阪市立自然史博物館、笠岡市立カブトガニ博物館、きしわだ自然資料館、倉敷市立自然史博物館、群馬県立自然史博物館、周南市徳山動物園、千葉県立中央博物館、株式会社中央宣伝企画、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、独立行政法人国立科学博物館、どこでも博物館、豊田ホタルの里ミュージアム、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、山口県漁業協同組合光支店、山口県立山口博物館、

金子信博、高桑祐司、増田修、南谷幸雄

### 概要

いつの時代にも人々を感嘆させてきた「世界最大」「史上最大」の動物や、一般に知られるサイズを超えた巨大個体の標本・剥製・複製など100点以上を一堂に展示。

大きいがゆえの「強さ」と「弱さ」、さらには私達の郷土・萩に残る巨大動物の痕跡にも光をあて、地球そして郷土の自然のダイナミックな営みを楽しみながら学ぶことのできる展示とした。

担当／堀 成夫・椋木博昭



## 企画展 「江戸時代の科学と技術 ～天文・医学・機巧（からくり）～」

会期／平成28年10月8日(土)

～12月4日(日)(58日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

### 概要

江戸時代の日本は、「鎖国」体制のもと、長い年月をかけて徐々に科学と技術を発展させており、特に江戸中期以降は、天文・測量、医学など、人々の暮らしや生命の維持に関する方面で、日本在来の知識に西洋の学問体系が融合し、蘭学が勃興した。これら江戸時代の日本における科学と技術の発展の歩みを、さまざまなモノ資料を通して概観する展示を行った。

担当／道迫真吾

関連行事／名 称：ギャラリートーク

日 時：10月8日(土)、10月22日(土)、11月5日(土)、  
12月3日(土)、14:00～



## 企画展 「萩・夏みかん物語」

**会期／**平成28年12月17日(土)  
～平成29年4月9日(日)(114日間)  
**後援／**山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

### 概要

明治維新の後、禄を失った武士を救済しただけでなく、萩の人と「まち」を経済的に支え続け、結果として江戸時代の城下町絵図を地図として使うことができる「まち」を守った夏みかん。その夏みかんについて、多角的な視点で再発見する展示を実施した。

夏みかんが江戸時代から栽培されていたことを示す新出資料をもとに、これを地域のブランド商品とした人々や、それを支えた技術について光をあて、併せて萩博物館発のまち歩きを提案した。

**担当／**清水満幸

**関連行事／名 称：**ギャラリートーク＆萩再発見ツアー  
**日 時：**12月17日(土)、1月14日(土)、2月11日(土)、3月11日(土)、4月8日(土)、14:00～

■平成29年度

特別展「高杉晋作没後150年記念  
高杉晋作の決意—明治維新への助走—」

会期／平成29年4月14日(金)

～5月7日(日)(24日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

協力／宮内庁書陵部、静岡市埋蔵文化財センター、東京ビジネスサービス株式会社

概要

高杉晋作没後150年記念（1867年4月14日没）として実施。幕末、西洋列強の支配を受ける中国・上海を視察した高杉晋作は、過激な攘夷運動の急先鋒と化していった。明治維新の大きな原動力となった西洋排撃の決意の軌跡を、晋作の上海日記「遊清五録（ゆうしんごろく）」、「御楯組血盟書」、「晋作書簡」（桂小五郎、井上聞多（馨）宛）、「柳生新陰流伝書」などでたどった。

オープニングセレモニーでは西国柳生新影流兵法鍊心館による剣術の試技を実施。また、あらかじめビデオに収録した試技を展示室に設置したモニタにより公開した。

担当／一坂太郎

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：4月30日(日)、5月3日(水・祝)  
5月4日(木・祝)、10:30～、14:00～  
5月7日(日)、13:30～

印刷物／図録「高杉晋作の決意—明治維新への助走—」  
(B5判、64ページ、2,000部)



企画展  
「萩・夏みかん物語Ⅱ」

会期／平成29年5月13日(土)

～6月11日(日)(30日間)

概要

平成28年度企画展「萩・夏みかん物語」の第2弾。「長州本場萩夏蜜柑」のブランドで広く国内外で取引されたことを示す資料や、夏みかんの経済栽培が裾野の広い産業であったことを示す資料、また観光資源として注目されたことを示す資料などを紹介し、夏みかんが萩の「まち」と人を支えたことを再発見する展示を実施した。

担当／清水満幸

## 特別展「驚異の遭遇！未確認生物 ～その時、そこにいたものは!?～」

会期／平成29年6月24日(土)

～9月3日(日)(72日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、益田市教育委員会、庄原市、庄原市教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

共催／NPO萩まちじゅう博物館

協力／糸魚川市役所交流観光課、到津の森公園、指宿市役所観光課、笠岡市立カブトガニ博物館、神奈川県立生命の星地球博物館、京都水族館、熊野湯旅館、神戸市立王子動物園、西都市教育委員会、下関市立しものせき水族館、庄原市役所西城支所、周南市徳山動物園、瑞龍寺、タキタロウ館、多摩六都科学館、対馬市役所総務課、つちのこ館、つやま自然のふしぎ館、鶴岡市役所朝日庁舎、東京海洋大学魚類学研究室、ときわ動物園、東映株式会社、洞爺湖町役場企画防災課、徳之島町郷土資料館、鳥羽水族館、日仏海洋学会、広島市安佐動物園、広島県三次市、福山市山野公民館、松戸市役所すぐやる課、美馬市教育委員会文化・スポーツ課、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、宮島水族館、むさしの自然史研究会、山形県立博物館、山口県水産研究センター、山口県文書館、山口県立山口博物館、  
井上吉弘、岩井照雄、菊池 浩、鈴鹿真一、角 孝政、山岡拓也、湯本豪一、吉田産／吉田狐稚

### 概要

目撃したという証言や言い伝えがありながら、まだ科学的に確認されていない生物—「未確認生物」のうち、日本ゆかりのもの約30種類の証言・写真・模型のほか、それらの正体と考えられる生物の標本や剥製を展示した。

担当／堀 成夫・椋木博昭

関連行事／名 称：ナイトミュージアム

日 時：8月5日(土)、8月12日(土)、8月19日(土)  
8月26日(土)、18:30～21:00



## 没後100年記念企画展 「日本の工学の父 山尾庸三」

会期／平成29年9月16日(土)

～12月3日(日)(78日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩  
協力／鹿児島県立図書館、国立公文書館、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻、山口県立山口博物館

### 概要

幕末、英国に密航留学し、維新後、工部大学校（現東京大学工学部）の創設に携わり、日本の工学教育の基盤形成に尽力したことから「工学の父」と称される山尾庸三。一方で、早くから盲唖教育の必要性を主張し、盲唖学校の創立に関与していたことも高く評価されている。

従来「長州ファイブ」の一人として紹介されることが多い庸三の人物像を、家族や友人などの関係・交流にも注目し、多角的な視点から紹介するため、平成28年3月、山尾家から萩市に寄贈

された約1,000点以上にも上る貴重な資料の一部を初公開展示した。

担当 当／道迫真吾

関連行事／名 称：ギャラリートーク

日 時：9月16日(土)、10月7日(土)、11月11日(土)、

12月2日(土)、14:00～

印刷物／図録：「日本の工学の父 山尾庸三」

(A4判、87ページ、1,000部)



が鉄道を通じて日本の近代化に貢献していったことに注目し、多角的な視点で萩と鉄道のかかわりを紹介する展示を行った。ジオラマ模型や初公開の「鉄道遺産 惣郷橋梁」建設工事写真、市民撮影の鉄道写真、玩具や塗り絵で楽しむことができるキッズコーナーなどにより、幅広い来館者層への情報発信を行った。

担当 当／清水満幸

関連行事／名 称：萩のスペシャル列車ウォッチング

日 時：12月24日(日)、2月18日(日)、3月11日(日)、

Aプラン「こだわりコース」8:00～10:30

Bプラン「よくばりコース」11:00～13:30



## 企画展 「萩の鉄道ことはじめ」

会 期／平成29年12月16日(土)

～平成30年4月8日(日)(114日間)

後 援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

### 概 要

日本の近代化の象徴である鉄道は萩に何をもたらしたのか。「鉄道の父」井上勝をはじめ鉄道草創期の技術者、時刻表創刊者など、萩ゆかりの人々

## ■平成30年度

### 企画展 「萩博 美のイッピン！（第1期）」

会期／平成30年4月14日(土)

～6月3日(日)(51日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

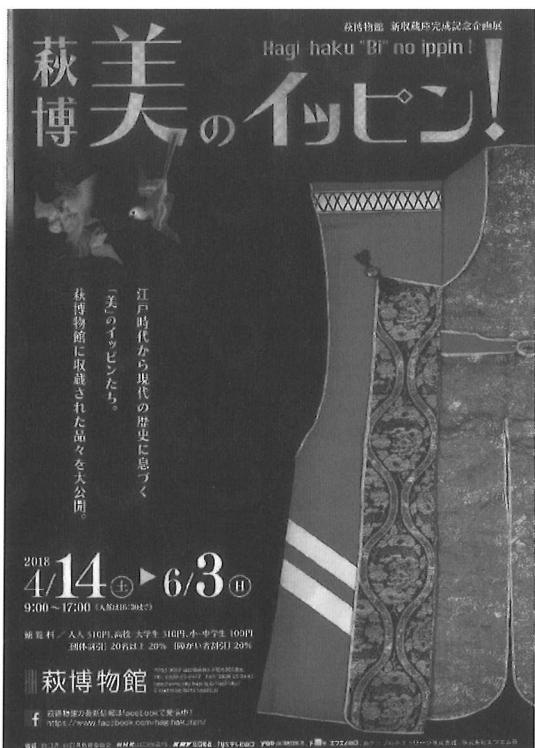
#### 概要

開館14年目を迎える萩博物館は多くの方々から寄贈・寄託頂いた膨大な資料を収めるため、新収蔵庫を建設した。これを記念し、収藏してきた資料の中から「美」をテーマとして、様々なイッピンを紹介する展示を行った。

担当／平岡 崇

関連行事／名 称：ギャラリートーク

日 時：4月14日(土)、4月29日(日)、5月5日(土)  
6月2日(土)、14:00～



### 特別展 「深海魚大行進

powered by 東京海洋大学  
マリンサイエンスミュージアム

会期／平成30年6月23日(土)

～9月2日(日)(72日間)

主催／萩博物館夏期特別展実行委員会  
共催／萩市、萩市教育委員会、東京海洋大学  
後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

展示協力／海鷹丸（東京海洋大学練習船）、国立研究開発法人海洋研究開発機構、西海国立公園九十九島水族館海きらら、シアゲイン、神鷹丸（東京海洋大学練習船）、水産研究・教育機構西海区水産研究所、青鷹丸（東京海洋大学練習船）、東京海洋大学魚類学研究室、独立行政法人国立科学博物館、日本水中映像株式会社、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」、

内田圭一（東京海洋大学海洋環境科学部門准教授）、宇野珠実（東京海洋大学海洋環境科学部門事務補佐員）、遠藤広光（高知大学教育研究部自然科学系理工学部門教授）、萩本啓介（下関市）、黒田真央（東京海洋大学大学院海洋資源環境学専攻）、河野 博（東京海洋大学海洋環境科学部門教授・東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム館長）、笹川 勉・笹川美紀（山口市）、角 孝政（美術立体造形工房アートレック）、園山貴之（下関市）、立花愛子（東京海洋大学海洋環境科学部門博士研究員）、中村宏治（日本水中映像株式会社会長）、根本雅生（東京海洋大学海洋科学部門教授）、茂木正人（東京海洋大学海洋環境科学部門准教授）

#### 概要

深海魚は、数多い生物の中で最も奇想天外で絶えず人々に衝撃と恐怖を抱かせ続けてきた存在である。中でも特に人気のあるリュウグウノツカイなどがしばしば出没することで知られてきた日本屈

指の地・萩の博物館として、当館(およびその前身施設)所蔵の深海魚標本と東京海洋大学が世界各地から収集した膨大な標本コレクションをあわせ、約300種類・約3000点という圧倒的な数量を網羅した国内最大級の深海魚展を開催した。

担当 当／堀 成夫・川原康寛・椋木博昭

関連行事①

名称：深海魚大行進ナイトミュージアム

日 時：7月21日(土)、8月11日(土)、8月18日(土)  
18:00～21:00

関連行事②

名称：東京海洋大学Dr.MOTEKIの深海魚なんでもトーキショー

日 時：7月28日(土)  
10:30～、13:00～、14:30～、16:00～

講 師：東京海洋大学 茂木正人准教授

関連行事③

名称：東京海洋大学Dr.MOTEKIと貴重体験「深海のブレデーター」解剖リサーチ

日 時：8月25日(土)、10:00～、13:00～、15:30～  
講 師：東京海洋大学 茂木正人准教授

関連行事④

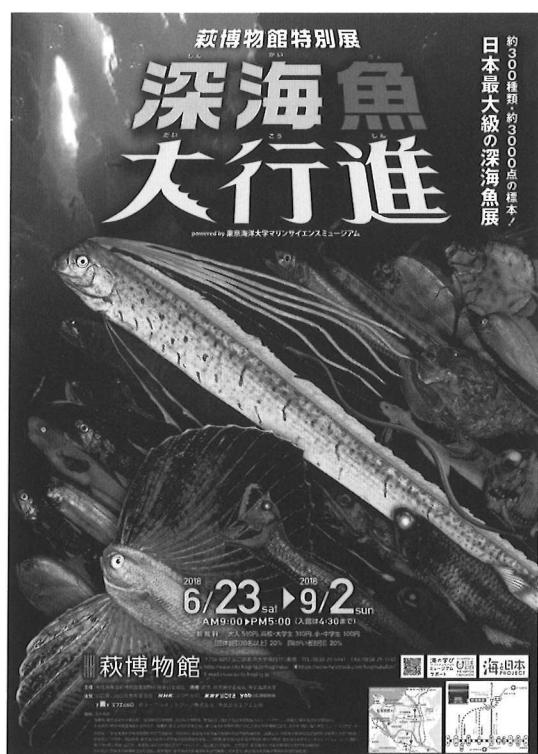
名称：観光列車「○○のはなし」で行く！  
深海魚ウォッチングツアーin萩

日 時：8月8日(水)、8月22日(水)  
11:00～17:00

関連行事⑤

名称：竜宮の使い＆水魚タッチング

日 時：9月1日(土)、9月2日(日)  
9:30～12:00、13:00～15:30



## 明治維新150年記念特別展第1弾 「手塚治虫が描いた明治維新」

会期／平成30年9月15日(土)

～10月14日(日)(30日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

展示協力／株式会社手塚プロダクション

### 概要

明治維新150年記念特別展第1弾。平成30年は明治維新150周年と「マンガの神様」と称えられる手塚治虫の生誕90周年とが重なっていた。この記念すべき年に、手塚治虫が「陽だまりの樹」などの作品で描いた明治維新の世界観を、直筆のマンガ原稿や館収蔵資料をもとに紹介した。

担当 当／道迫真吾

関連行事①

名称：手塚るみ子さんトークショー  
「娘が語る父・マンガ家『手塚治虫』」

日 時：9月15日(土)、10:30～12:00

講 師：手塚るみ子氏  
(株式会社手塚プロダクション取締役)  
桐木憲一氏  
(マンガ家・萩市ふるさと大使)  
道迫真吾(コーディネーター)

関連行事②

名称：ギャラリートーク

日 時：9月15日(土)、9月29日(土)  
10月13日(土)、14:00～



明治維新150年記念特別展 第1弾  
手塚治虫が描いた  
明治維新

萩博物館

会場

2018.9.15(土)～10.14(日)

9:00～17:00 (入館料1,350円)  
休館日：毎週火曜日（祝日を除く）

98

## 明治維新150年記念特別展 第2弾 「長州ファイブ —幕末・海外留学生の軌跡—」

会期／平成30年10月27日(土)

～11月25日(日)(30日間)

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

展示協力／旧伊藤博文金沢別邸、京都大学附属図書館、宮内庁三の丸尚蔵館、国立国会図書館憲政資料室、松陰神社〔東京都〕、松陰神社〔山口県〕、徳富蘇峰記念館、広島県立歴史博物館、山口県文書館、山口県立萩美術館・浦上記念館、山口県立山口博物館、横浜みなと博物館

### 概要

明治維新150年記念特別展第2弾。ペリー来航を機に国際社会へ乗り出す日本。吉田松陰はアメリカ密航に失敗するが、その後長州藩から伊藤博文・井上馨・山尾庸三・井上勝・遠藤謹助の5人が海外渡航を果たした。なぜ彼らは危険を顧みず海外へ渡ったのか、関連資料を一堂に集めて紹介した。

担当／道迫真吾

関連行事①

名称：講演会「明治維新をどう読み解くか」

日時：11月3日(土) 13:30～15:00

関連行事②

名称：ギャラリートーク

日時：10月27日(土)、11月10日(土)、11月23日(金・祝)、14:00～

出版物／図録『長州ファイブ

—幕末・海外留学生の軌跡—』

(A4判、87ページ、1,000部)



2018.10.27(土)  
～11.25(日)

9:00～17:00 (入館料1,350円) \*会場外休

萩博物館

企画展  
**「萩博 美のイッピン！（第2期）」**

会 期／平成30年12月8日(土)

～平成31年3月3日(日)(86日間)

後 援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

**概 要**

萩博物館収蔵品からイッピンを紹介する展示の第二弾。

新たに展示されている陣羽織のレプリカを着用して写真撮影ができるコーナーを設置。

担 当／平岡 崇

関連行事／名 称：ギャラリートーク

日 時：12月8日(土)、1月13日(日)、1月26日(土)  
2月10日(日)、14:00～



日本ジオパーク認定記念特別展  
**「描かれた萩の大地（ジオ）**  
—絵図にかくされた大地と人の物語（ストーリー）—

会 期／平成31年3月16日(土)

～5月12日(日)(58日間)

後 援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、株式会社エフエム萩、山口市、阿武町教育委員会、萩ジオパーク推進協議会

展示協力／阿武町教育委員会、下関市立美術館、毛利博物館、山口県文書館、山口県立美術館、山口県立山口博物館、奥山 明、小野村一人、金折裕司、坂倉弘道、伊達千絵、藤田尚子、堀川義之、松林 明

**概 要**

本展示は、平成30年9月20日に萩ジオパーク（萩市・阿武町・山口市阿東地域で構成）が日本ジオパークに認定されたことを記念して実施した。萩の大地は、3期にわたるマグマの胎動によって彩られている。人々は大地の上で様々な生業を営み、地域の文化を築くとともに、その風景や景観を愛でてきた。江戸時代以降に描かれた絵画や絵図を通して、萩の大地で営まれた過去から現在に至る人々の生活や文化の様相などを読み解く。

また、萩出身の地質学者かつ日本画家の高島北海は、長門峡や須佐湾の保全と活用に尽力した。北海の足跡を振り返るとともに、絵画作品も紹介した。

担 当／平岡 崇

関連行事①

名 称：弥富探訪会

日 時：3月16日(土)、9:00～16:00

関連行事②

名 称：長門峡探訪会

日 時：4月13日(土)、9:00～15:30

関連行事③

名 称：奈古峡探訪会

日 時：4月20日(土)、9:00～15:30



■平成31年／令和元年度

## 企画展 「萩の夏みかん物語りⅠ」

会期／令和元年5月18日(土)

～6月11日(火)(25日間)

主催／萩博物館特別展・企画展開催実行委員会  
後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、株式会社エフエム萩

### 概要

明治維新の後、禄を失った武士だけではなく、萩の人と「まち」を経済的に支え続け、結果として江戸時代の城下町絵図を地図として使うことができる「まち」を守った夏みかん。経済栽培初期の様子を示す初出資料をはじめ、夏みかんにかかわる様々な歴史文化を物語る資料を紹介し、併せて現在も夏みかん栽培が続く世界文化遺産の構成資産のひとつ「萩城下町」に来館者を誘う関連行事を実施した。

担当／清水満幸・道迫真吾

関連行事／名称：ギャラリートーク＆まち歩き

日時：5月18日(土)、6月8日(土)、14:00～16:00



## 特別展 「危険生物大迷宮」

会期／令和元年6月29日(土)

～9月1日(日)(64日間)

※8月15日は臨時休館

主催／萩博物館特別展・企画展開催実行委員会

共催／萩市、萩市教育委員会

後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、株式会社エフエム萩

展示協力／秋吉台自然動物公園サファリランド、一般財団法人日本蛇族学術研究所、岡山理科大学理学部動物学科、沖縄県衛生環境研究所生物班、神奈川県立生命的の星・地球博物館、九州大学熱帯農学研究センター、倉敷市立自然史博物館、公益財団法人山階鳥類研究所、周南市徳山動物園、体感型動物園iZoo、独立行政法人国立科学博物館、姫路科学館、辻 雄介(岩国市)、中村 孝(山口市)、西川完途(京都大学大学院地球環境学堂)、伴 一利(平生町)、増原啓一(美祢市)、山本和宏(京都大学大学院人間環境学研究科)

※敬称略、五十音順

### 概要

世界的に人や物資の往来が盛んになった昨今、海外の生物が意図せず日本に定着する例が相次ぎ、人が危険生物に遭遇する機会が高くなっている。加えて、最近は危険生物を特集する番組がテレビ放送されるなど、全国的に危険生物に対する関心が高い。

現状、萩は危険生物による被害が少なかったが、今後人・モノの交流が盛んになるにつれ、全国各地と同様、未知の生物が侵入する危険性がある。そこで、よく知られてきたコブラやライオンといった危険生物に加え、レオポンやヒアリなどの「ハイブリッド生物」「侵略的外来種」と呼ばれる「新しい危険生物」の標本・剥製・写真など約200点を展示することで、それらの性質や危険性、萩への侵入の可能性、対処方法を学んでもらう契機とした。

担当／川原康寛・堀 成夫・椋木博昭

関連行事①

名称：危険生物に遭遇!? 親子de火山たんけん隊

日時：7月27日(土)、9:30～12:00

8月24日(土)、18:30～20:00

主催：萩ジオパーク推進協議会

関連行事②

名称：ディーゼル列車で行く！

海の危険生物ウォッキングツアー in 萩

日時：8月9日(金)、8月18日(日)、

10:00～17:00

関連行事③

名称：危険生物大迷宮ナイトミュージアム

日時：8月10日(土)、8月11日(日)、8月12日(月・祝)、

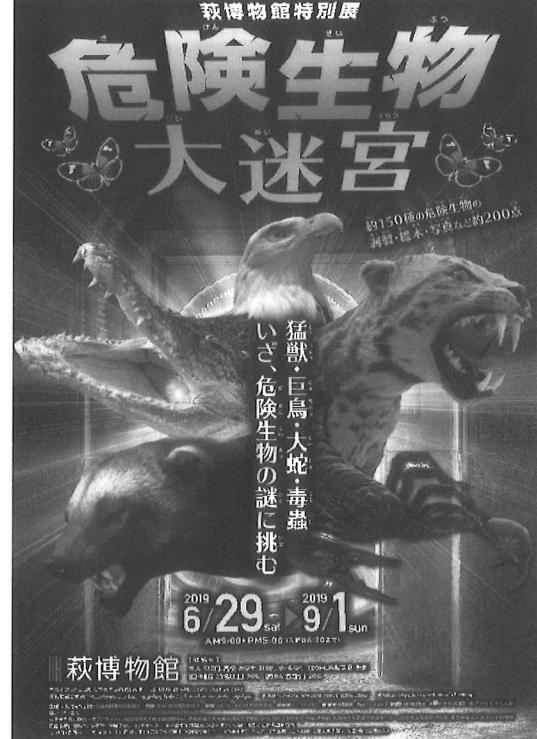
18:00～21:00

関連行事④

名称：トワイライトミュージアム

日時：8月13日(火)、8月14日(水)、8月15日(木)、

17:00～19:00



## 企画展 「萩の鉄道物語り」

会期／令和元年9月14日(土)

～10月20日(日)(37日間)

主催／萩博物館特別展・企画展開催実行委員会  
後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、株式会社エフエム萩

### 概要

人、物、情報をいち早く運ぶ鉄道の敷設は、全国各地で様々な産業を生み出したが、萩市においても、鉄道開業を契機として、豊かな歴史環境を活かした史跡観光が推進されるようになった。開業後の萩市における観光立市や史跡保存の取り組みや、観光産業と鉄道との関連を紹介し、併せて鉄道の萩三角州巡回敷設が、結果として城下町を大きな改変から守ったことを再発見・共有する展示を行った。

また、鉄道ファンの聖地とも呼べる市内鉄道関連史跡に観覧者を誘う行事を実施した。

担当／清水満幸・堀 成夫

関連行事／名称：萩のスペシャル列車ウォッキング！

日時：9月15日(日)、10月20日(日)  
Aプラン「こだわりコース」  
8:00～10:30  
Bプラン「よくばりコース」  
11:00～11:30



## 創建300年記念特別展 「長州藩校 明倫館－武士たちの学び舎－」

会期／令和元年11月9日(土)

～令和2年1月5日(日)(58日間)

主催／萩博物館特別展・企画展開催実行委員会  
共催／萩市、萩市教育委員会  
後援／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩テレビ株式会社、株式会社エフエム萩  
協力／岩国微古館、公益財団法人斯文会、周南市教育委員会、周南市美術博物館、周南市立熊毛図書館、松陰神社、須佐歴史民俗資料館、玉川大学教育博物館、東京大学史料編纂所、東京大学駒場図書館、防府市教育委員会、防府市立華浦小学校、毛利博物館、山口県文書館、山口県立萩高等学校、山口県立山口博物館

### 概要

長州藩の藩校明倫館創建300年記念(1719年1月12日創建)として実施。明倫館は、長州藩の教育施設として多数の藩士を教育し、江戸時代を通じて長州藩の「人づくり」をリードした。

本展では、明倫館の創建以前から終焉にいたるまでの道程を、初公開を含む約90点の資料を用いてたどった。また、令和元年11月30日・12月1日に開催された「第17回全国藩校サミット萩大会」(事務局：萩・明倫学舎推進課)の同時開催イベントのひとつにも位置づけられ、サミット成功の一端を担った。

担当／平岡 崇・道迫真吾

関連行事①

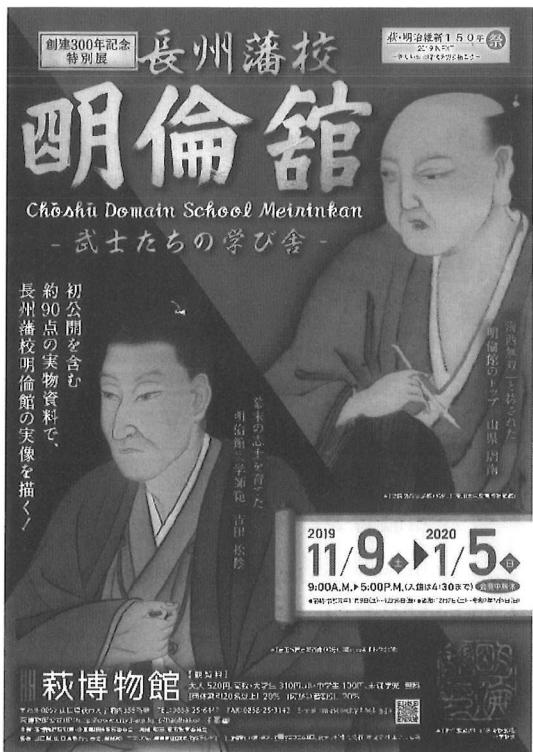
名称：講演会「藩校明倫館の教育」  
講師：前田 勉氏(愛知教育大学特別教授)

日時：12月7日(土)、13:30～15:00

関連行事②

名称：ギャラリートーク  
日時：11月9日(土)、11月30日(土)、12月14日(土)、1月3日(金)、1月4日(土)、1月5日(日)、14:00～

出版物／図録『長州藩校 明倫館－武士たちの学び舎－』  
(A4判、88ページ、1,000部)



## 企画展 「萩の夏みかん物語りⅡ」

**会期**／令和2年1月18日(火)～3月31日(火)

※ただし、新型コロナ感染症拡大にともなう臨時休館により、3月1日(日)までの公開

**主催**／萩博物館特別展・企画展開催実行委員会  
**後援**／山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FMYエフエム山口、萩テレビ株式会社、株式会社エフエム萩

### 概要

令和元年度春期開催の企画展の第2弾。夏みかんに関わるさまざまな物語に加え、ゲノム研究により夏みかんの系譜が明らかになりつつあるという最新情報を交えつつ、山口県日本海側が多様な柑橘を育くむ環境にあること新たに紹介。夏みかん栽培の継続により大きな改変を受けなかった「萩城下町」を巡る展示関連のまち歩き行事を実施した。

**担当**／清水満幸・道迫真吾

関連行事／名 称：ギャラリートーク＆まち歩き

日 時：令和2年1月25日(土)、2月22日(土)  
 14:00～

**特設展示  
「兄松陰と妹文～杉家の家族愛～」**

**会期**／平成26年11月8日(土)～平成28年12月4日(日)

※当初の9月終了の予定を延長した。

**会場**／特設展示室(旧いきもの発見ギャラリー)  
**概要**

平成27年(2015)、萩を舞台とした大河ドラマ「花燃ゆ」が放映。これにちなんで「兄松陰と妹文」をテーマとする特設展示室を期間限定で開設。吉田松陰や杉文(のちの楫取美和子)が書いた手紙など、杉家から寄贈された貴重な実物資料から、杉家の家族愛を感じ取っていただいた。

松陰と文の兄妹は、萩城下の東郊松本村に、杉百合之助・滝夫妻の子として生まれた。松陰は、幼くして萩藩の兵学師範吉田大助の跡を継ぐが、大助が亡くなつたため杉家に引き取られる。父や叔父玉木文之進は、松陰を一人前に育てるため厳格に教育したが、杉家は母を中心とする温かく、明るい家庭で、その影響を受け育まれた兄妹の情愛は、大変厚いものであったことが資料から浮かび上がる。

たとえば、松陰が書いた手紙を読むと、13歳下の文の成長ぶりをいつも気にかけていたことがわかる。そして文もまた、若くして死別した兄松陰に対し深い追慕の情を抱き続けていたことが、彼女の書き残した直筆の書から伝わる。

幕末から明治にかけての激動の時代、萩に実在した松陰・文の兄妹を軸に、杉家で培われた強い家族の絆を堪能していただいた。

**担当**／道迫真吾

**印刷物**／図録『吉田松陰の手紙—萩博物館所蔵杉家寄贈資料—』(B5判、80ページ、2,000部)



## (2) テーマ展

エントランスホールや高杉晋作資料室などでトピック的な小展示を開催。特別展・企画展の展示準備により企画展示室が閉鎖している際などにも、少しでも多くの展示を観覧していただくため平成21年度から実施していた。

### 平成27年度テーマ展

#### 古萩人形の世界

会 場／エントランスホール

##### 概 要

萩市観光協会「萩城下古き雛たち」行事に呼応し、第二次世界大戦後に女性の授産事業として取り上げられ、沢山の女性たちが携わって制作された古萩人形の原点ともいえる作品を展示した。

#### 明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域

会 場／エントランスホール

##### 概 要

平成27年7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について、その全容を簡潔に紹介した。

#### 久坂玄瑞の手紙

会 場／高杉晋作資料室

##### 概 要

久坂玄瑞から吉田松陰、杉梅太郎への手紙等から久坂と杉家との関係を読み解く展示をおこなった。

### 平成28年度テーマ展

#### 世界文化遺産へのいざない

会 場／エントランスホール

##### 概 要

平成27年7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」における構成資産を写真パネルで紹介した。

#### 日本ジオパークへのいざない

会 場／エントランスホール

##### 概 要

萩市におけるジオパーク構想の活動や見所（ジオサイト）を写真パネル等で紹介した。

#### 久坂玄瑞の手紙

会 場／高杉晋作資料室

##### 概 要

久坂玄瑞から吉田松陰、杉梅太郎への手紙等から久坂と杉家との関係を読み解く展示をおこなった。

### 平成29年度テーマ展

#### まちじゅう博物館へのいざない

会 場／エントランスホール

##### 概 要

未来に伝えたい「まちじゅう博物館」における「おたから（地域資源）」を、地域の人たちが自ら調べて地図化した「おたからマップ」により紹介した。

#### 日本ジオパークへのいざない

会 場／エントランスホール

##### 概 要

萩市におけるジオパーク構想の活動や見所（ジオサイト）を写真やグラフィックパネル等で紹介した。

#### 世界文化遺産へのいざない

会 場／エントランスホール

##### 概 要

平成27年7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」における構成資産概要と、その中で萩市の5資産がどのような意義を持つかについて、写真やグラフィックパネルで紹介した。

## 平成30年度テーマ展

### まちじゅう博物館へのいざない

会 場／エントランスホール

#### 概 要

未来に伝えたい「まちじゅう博物館」における「おたから（地域資源）」を、地域の人たちが自ら調べて地図化した「おたからマップ」により紹介した。

### 日本ジオパークへのいざない

会 場／エントランスホール

#### 概 要

萩市におけるジオパーク構想の活動や見所（ジオサイト）を写真やグラフィックパネル等で紹介した。

### 世界文化遺産へのいざない

会 場／エントランスホール

#### 概 要

平成27年7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」における構成資産概要と、その中で萩市の5資産がどのような意義を持つかについて、写真やグラフィックパネルで紹介した。

#### (3) その他の展示

萩博物館の学芸職員は博物館外でも様々な要請を受けて展示準備・開催に携わってきた。その記録として、平成27年度以前の分まで遡及して掲載する。

#### 平成23年度

##### 藩校明倫館と郷校育英館

須佐歴史民俗資料館連携の展示協力

#### 平成24年度

##### 湖底のふるさと

阿武川歴史民俗資料館連携の展示企画制作

##### 永代家老益田家のお抱え絵師

須佐歴史民俗資料館連携の展示協力

#### 変わらない『まち』

～「虹を織る」萩口ヶから30年～

文化生涯学習課依頼の展示企画制作

#### 平成26年度

##### 須佐歴史民俗資料館（本館）展示再開企画・制作

被災須佐歴史民俗資料館の展示企画

#### 平成27年度

##### 浜崎の住吉祭り

文化財保護課保存修理物件利活用の展示企画制作

##### 須佐歴史民俗資料館 豪雨災害復興企画展

##### 「須佐を支えた人々」

被災民俗資料の展示企画制作

#### 花燃ゆ

NHK大河ドラマ特別展・NHKプロモーション共同企画制作、山口県立萩美術館・浦上記念館、東京都江戸東京博物館、アーツ前橋（群馬県）の3館を巡回

#### 萩・世界遺産ビジャーセンター 学び舎（まなびや）展示の企画制作

学び舎における世界遺産関連資料の展示企画制作

#### 平成28年度

##### 幕末ミュージアム展示の企画制作、萩・世界遺産ビジャーセンター展示の企画制作、藩校明倫館展示の企画制作、明倫小学校展示の企画制作

「萩・明倫学舎」における藩校明倫館関連資料・明倫小学校の展示企画制作

#### 瑞風運行開始記念 日本の鉄道の父・井上勝＆鉄道と観光

萩駅舎における鉄道関連資料の展示企画制作

#### 平成30年度

##### 見島行き新高速船「ゆりや」命名に係るユリヤガイ紹介展示

萩海運待合所におけるミニ展示の企画制作

## 6. 入館者数の推移



年 度	総入館者数	有料入館者数	無料入館者数
平成16年度	72,793	66,129	6,664
平成17年度	101,063	96,348	4,715
平成18年度	88,400	83,257	5,143
平成19年度	89,375	80,934	8,441
平成20年度	99,657	91,265	8,392
平成21年度	91,389	82,785	8,604
平成22年度	129,249	118,669	10,580
平成23年度	99,266	89,842	9,424
平成24年度	121,129	108,043	13,086
平成25年度	89,252	79,601	9,651
平成26年度	95,483	83,395	12,088
平成27年度	102,523	94,061	8,462
平成28年度	84,901	73,107	11,794
平成29年度	86,543	76,504	10,039
平成30年度	88,234	76,538	11,696
令和元年度	78,565	66,306	12,259
累 計	1,517,822	1,366,784	151,038

※平成16年度は5か月。

※パスポートでの入館者は有料入館者として計上。

## 平成27年度以降の特別展・企画展別入場者数

	展示名	会期	日数	総入場者数(人)	1日あたり(人)
平成二十七年度	展示替え期間		11	2,066	188
	1 特別展 長州男児、愛の手紙 吉田松陰から盟友小田村伊之助へ 久坂玄瑞から妻文へ	平成27年4月17日(金) ～6月21日(日)	66	22,400	339
	展示替え期間		12	1,740	145
	2 特別展 ベっぴん！美形いきもの帳 －世にも美しい生物の秘密－	平成27年7月4日(土) ～9月6日(日)	65	33,978	523
	展示替え期間		11	2,264	206
平成二十八年度	3 企画展 「明治日本の産業革命遺産」と萩	平成27年9月19日(土) ～11月29日(日)	67	23,658	353
	展示替え期間		10	1,295	130
	4 企画展 城下町・萩のひみつ－迷宮へのいざない－	平成27年12月6日(土) ～平成28年4月7日(木)	118	14,639	124
	展示替え期間		8	722	90
	1 特別展 高杉晋作の恋文(ラブレター)	平成28年4月14日(木) ～5月8日(日)	25	5,532	221
平成二十九年度	展示替え期間		5	1,089	218
	2 企画展 城下町・萩のひみつII	平成28年5月14日(土) ～7月3日(日)	51	7,251	142
	展示替え期間		11	1,118	102
	3 特別展 衝撃！ビッグアニマル大接近 ～地球をゆるがす巨大動物たち～	平成28年7月15日(金) ～9月25日(日)	73	48,589	666
	展示替え期間		12	1,482	124
平成三十一年度	4 企画展 江戸時代の科学と技術～天文・医学・機巧～	平成28年10月8日(土) ～12月4日(日)	58	8,157	141
	展示替え期間		12	654	55
	5 企画展 萩・夏みかん物語	平成28年12月17日(土) ～平成29年4月9日(日)	114	9,619	84
	展示替え期間		4	367	92
	1 特別展 高杉晋作の決意－明治維新への助走－	平成29年4月14日(金) ～5月7日(日)	24	4,968	207
平成三十一年度	展示替え期間		5	517	103
	2 企画展 萩・夏みかん物語II	平成29年5月13日(土) ～6月11日(日)	30	4,535	151
	展示替え期間		12	732	61
	3 特別展 驚異の遭遇！未確認生物 ～その時、そこにいたものは!?～	平成29年6月24日(土) ～9月3日(日)	72	53,091	737
	展示替え期間		12	1,210	101
平成三十一年度	4 企画展 日本の工学の父 山尾庸三	平成29年9月16日(土) ～12月3日(日)	79	10,478	133
	展示替え期間		12	688	57
	5 企画展 萩の鉄道ことはじめ	平成29年12月16日(土) ～平成30年4月8日(日)	114	9,936	87
	展示替え期間		5	298	60
	1 企画展 萩博 美のイッピン！(第1期)	平成30年4月14日(土) ～6月3日(日)	51	7,964	156
令和元年度	展示替え期間		19	1,324	70
	2 特別展 深海魚大行進 powered by 東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム	平成30年6月23日(土) ～9月2日(日)	72	51,306	713
	展示替え期間		12	1,298	108
	3 特別展 手塚治虫が描いた明治維新	平成30年9月15日(土) ～10月14日(日)	30	7,910	264
	展示替え期間		12	1,526	127
令和元年度	4 特別展 長州ファイブ 一幕末・海外留学生の軌跡－	平成30年10月27日(土) ～11月25日(日)	30	5,748	192
	展示替え期間		12	895	75
	5 萩博 美のイッピン！(第2期)	平成30年12月8日(土) ～平成31年3月3日(日)	86	6,229	72
	展示替え期間		12	827	69
	6 特別展 描かれた萩の大地(ジオ) ～絵図にかくされた大地と人の物語(ストーリー)～	平成31年3月16日(土) ～5月12日(日)	58	8,328	144
令和元年度	展示替え期間		5	524	105
	1 企画展 萩の夏みかん物語I	令和元年5月18日(土) ～6月11日(日)	25	3,723	149
	展示替え期間(6/12～6/14は休館日)		17	927	55
	2 特別展 危険生物大迷宮(8/15は臨時休館)	令和元年6月29日(土) ～9月1日(日)	65	52,119	802
	展示替え期間		12	985	82
令和元年度	3 企画展 萩の鉄道物語り	令和元年9月14日(土) ～10月20日(日)	37	5,021	136
	展示替え期間		19	2,382	125
	4 特別展 長州藩校 明倫館 一武士たちの学び舎－	令和元年11月9日(土) ～令和2年1月5日(日)	58	5,375	93
	展示替え期間		12	460	38
	5 企画展 萩の夏みかん物語II(1/22～1/24は休館日)	令和2年1月18日(火) ～3月1日(日)	41	3,319	81
令和元年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館	令和2年3月2日(月) ～3月31日(火)	30	0	0

## 7. 教育普及活動

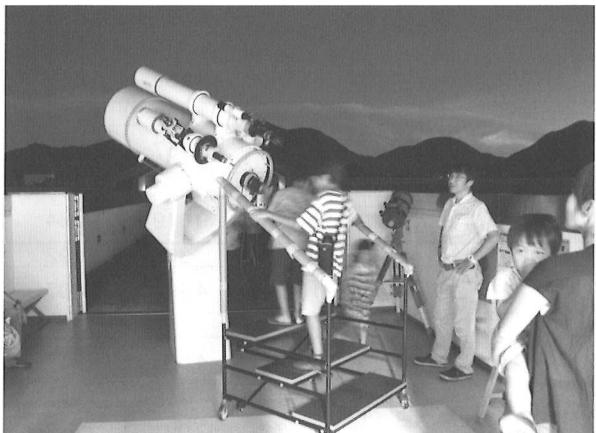
教育普及活動は、収集・保存・研究・展示をする以外の、対外的な教育関連活動をさす。

萩博物館では、歴史や自然にかかわる講座やワークショップ、観察会、観望会、トレインツアーなどを実施している。

学校との連携にも力を入れており、市内・阿武町の小中学校へ学芸職員が出向き授業を行う「出

前授業」、市内・市外の小中学校生徒が来館し、博物館の展示室や講座室などをを利用して学芸職員から授業を受ける「館内授業」を行っている。

当館が主催あるいは共催する普及行事以外にも、公民館や町内会などの団体が実施する講座や探訪会、研修会や勉強会などに対しても積極的に支援を行っている。



天体観望会



館内授業



トレインツアー



萩再発見ツアー

## 平成27年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜、吉田松陰の書状を読む	5月12日(火)	50	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	6月9日(火)	44	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜、吉田松陰の書状を読む	7月7日(火)	50	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜、吉田松陰の書状を読む	9月1日(火)	48	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	10月6日(火)	50	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜、吉田松陰の書状を読む	11月10日(火)	49	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	12月8日(火)	49	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜、吉田松陰の書状を読む	1月12日(火)	44	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜の書状を読む	2月9日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜、吉田松陰の書状を読む	3月8日(火)	42	萩博物館講座室 10:00~12:00
天体観望会(昼の部)	太陽の観望と話 ・8/10~8/12 日中の金星を探そう	毎週金曜日 (4月~3月)	1,416	萩博物館天体観望室 13:00~16:30
天体観望会(夜の部)	天体観望と天文の話 ・4/4 皆既月食を見よう ・5/29 金星・木星・月を見よう ・8/14 ペルセウス座流星群を見よう ・8/28 江戸時代の天体観望 ・9/25 月齢12.2のお月見 ・10/16 秋の夜空と天王星・海王星を見よう	毎週金曜日 (4月~3月)	306	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
館外観望会 冬の寿星・カノープスを見よう！	恒星として全天で2番目に明るい、南天の星カノープスを見る	2月26日(金)	4	萩博物館天体観望室・ 田床山 19:30~21:30
特別講座「明治日本の産業革命遺産」と 萩に併せ、開催した講演会	企画展「明治日本の産業革命遺産と 萩」に併せ、開催した講演会	10月3日(土)	約80	萩博物館講座室 13:30~15:20
「海の学びミュージアムサポート」助成事業 特別列車 萩・海の学びトレインツアー	萩の海の知られざる魅力や秘密を楽しみながら学べる特別列車ツアー	8月1日(土)、 8日(土)、 22日(土)、 29日(土)、 10月11日(日)、 12月6日(日)	268	萩博物館講座室・展示室・須佐・倉江 終日
貝殻コレクションツアー	上記トレインツアーに途中から合流し、浜辺で貝殻を採集するワークショップ	12月6日(日)	10	倉江 随時



萩・海の学びトレインツアー



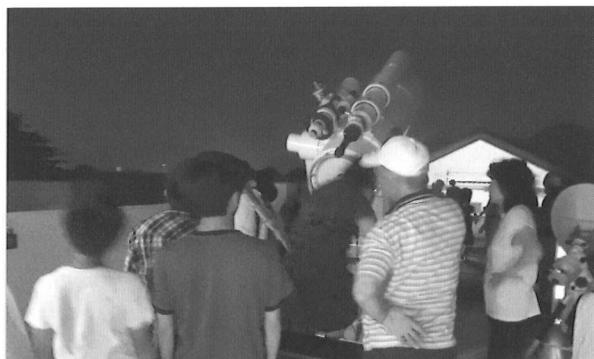
特別講座「明治日本の産業革命遺産」の  
過去・現在・未来

## 平成28年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行事名	内容	期日	参加者数	場所・時間
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	5月10日(火)	58	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	6月14日(火)	54	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	7月12日(火)	44	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	9月13日(火)	47	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	10月18日(火)	40	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	11月15日(火)	44	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	12月13日(火)	49	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	1月17日(火)	41	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	2月14日(火)	49	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	典刑・御触書抜を読む	3月14日(火)	38	萩博物館講座室 10:00~12:00
天体観望会(昼の部)	太陽の観望と話 ・2/17 日中の金星を探そう	毎週金曜日 (4月~3月)	1,145	萩博物館天体観望室 13:00~16:30
天体観望会(夜の部)	天体観望と天文の話 ・5/13 春の夜空と木星を見よう ・7/8 子供天文教室 ・8/12 ペルセウス座流星群を見 よう、夏の夜空も見よう ・9/16 月齢15.1のお月見、江戸 時代の天体望遠鏡 ・10/21 秋の夜空と天王星・海王 星を見よう ・11/14 スーパームーンを見よう	毎週金曜日 (4月~3月)	594	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
冬の寿星・カノープスを見よ う！	恒星として全天で2番目に明るい、 南天の星カノープスを見る	2月24日(金)	2	萩博物館天体観望室・ 田床山 19:30~21:30
「海の学びミュージアムサポ ート」助成事業 萩・海のパラダイスツアー	萩の海の知られざる魅力や秘密を楽 しみながら学ぶツアー	6月24日(金)、 8月5日(金)、 20日(土)、 9月30日(金)、 10月17日(月)、 21日(金)	497	須佐、大島ほか



萩・海のパラダイスツアー



天体観望会(夜の部) 8月12日ペルセウス座流星群を見よう、夏の夜空も見よう

## 平成29年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	5月16日(火)	44	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	6月13日(火)	44	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	7月11日(火)	40	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	9月12日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	10月17日(火)	36	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	11月14日(火)	41	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	12月12日(火)	37	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	1月16日(火)	39	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	2月13日(火)	28	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	3月13日(火)	36	萩博物館講座室 10:00~12:00
天体観望会(昼の部)	太陽の観望と話 ・5/5 日中の金星を探そう	毎週金曜日 (4月~3月)	1,118	萩博物館天体観望室 13:00~16:30
天体観望会(夜の部)	天体観望と天文の話 ・5/5 春の夜空と木星を見よう ・7/28 月・水星・木星・土星を見よう ・8/11 夏の星空とペルセウス座流星群を見ようー木星が西の空・土星がほぼ南の空にー ・8/25 江戸時代の天体望遠鏡（再現）で月や土星を見よう ・10/6 名月（満月）を見よう ・10/27 秋の夜空と月、天王星、海王星を見よう	毎週金曜日 (4月~3月)	355	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
館外観望会 田床山でカノープスを見よう	恒星として全天で2番目に明るい、南天の星カノープスを見る	2月23日(金)	4	萩博物館天体観望室・ 田床山 19:30~21:00
萩・海と大地のトレンツツアー	萩の海と大地の知られざる魅力や秘密を楽しみながら学ぶツアー	8月4日(金)	92	須佐・むつみ地域 9:00~17:00

## 平成30年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行事名	内容	期日	参加者数	場所・時間
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	5月15日(火)	41	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	6月12日(火)	40	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	7月10日(火)	43	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	9月11日(火)	40	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	10月16日(火)	34	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	12月11日(火)	37	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	1月8日(火)	33	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	2月5日(火)	36	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	3月12日(火)	37	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	4月9日(火) (11月13日振替)	34	萩博物館講座室 10:00~12:00
天体観望会(昼の部)	太陽の観望と話 ・9/21 昼間の金星を探そう	毎週金曜日 (4月~3月)	716	萩博物館天体観望室 13:00~16:30
天体観望会(夜の部)	天体観望と天文の話 ・5/18 春の星空と木星を見よう ・7/6 水星・金星を見よう ・8/10 火星・木星・土星を見よう ・8/17 夏の星空と月・金星・火星・木星・土星を見よう ・8/31 夏の星空といろいろな天体を見よう ・9/21 夏の星空や天の川を見よう・江戸時代の望遠鏡(再現)で月・その他天体を見よう ・10/19 秋の星空と月・天王星・海王星を見よう ・1/11 冬の星空を見よう	毎週金曜日 (4月~3月)	295	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
館外観望会 田床山でカノープスを見よう！	恒星として全天で2番目に明るい、南天の星カノープスを見る	2月22日(金)	0 (曇天中止)	萩博物館天体観望室・ 田床山 19:30~21:00
東京海洋大学Dr.MOTEKIの深海魚なんでもトークショー	魚類学者がクイズを交えて深海魚の話題や謎を紹介	7月28日(土)	185	萩博物館講座室 10:30~16:30
東京海洋大学Dr.MOTEKIと貴重体験！「深海のプレデター」解剖リサーチ	魚類学者の指南のもと、獰猛な深海魚(冷凍標本)を解剖・観察	8月25日(土)	56	萩博物館講座室 10:00~16:30
観光列車「○○のはなし」で行く！深海魚ウォッキングツアーin萩	列車で萩から江崎へ向かい、定置網に入った深海魚をタッチ・観察	8月8日(水) 8月22日(水)	102	萩駅～江崎駅周辺 11:00~17:00
竜宮の使い＆水魚タッチング	人気の2大深海魚の冷凍標本を特別に解凍し、タッチ・観察・撮影	9月1日(土) 9月2日(日)	1,477	萩博物館講座室 9:30~15:30
手塚るみ子さんトークショー 「娘が語る父・マンガ家『手塚治虫』」	長女るみ子氏が手塚治虫のありのままの姿をわかりやすく紹介	9月15日(土)	120	萩博物館講座室 10:30~12:00
講演会「明治維新をどう読み解くか」	2連続開催の明治維新150年記念特別展の意義を担当学芸員が解説	11月3日(土)	90	萩博物館講座室 13:30~15:00

## 平成31年度／令和元年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	5月14日(火)	42	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	6月11日(火)	42	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	7月9日(火)	36	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	9月10日(火)	43	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	10月8日(火)	37	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	11月12日(火)	39	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	12月10日(火)	36	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	1月7日(火)	34	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	2月4日(火)	36	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の「お触れ書」などを読む	3月10日(火)	中止	
天体観望会(昼の部)	太陽の観望と話 ・12/26 部分日食を見ませんか	毎週金曜日 (4月~3月)	740	萩博物館天体観望室 13:00~16:30
天体観望会(夜の部)	天体観望と天文の話 ・5/10 春の夜空を眺めよう ・8/8~8/12 夏の星空 観望会スペシャル ・9/13 中秋の名月を見よう ・10/18 秋の星座ペガスの大四辺形を見つけよう	毎週金曜日 (4月~3月)	658	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
長寿を祈る縁起の良い星力ノーブスを見よう	南の空の地平線近くに赤く輝く長寿の星“カノーブス”を田床山に移動して観望。	2月28日(金)	0 (雨天中止)	萩博物館天体観望室・ 田床山 19:30~21:00
萩の夏みかん物語りⅠ ギャラリートーク&まち歩き	担当学芸員による展示解説の後、長州藩上級武家の暮らしの痕跡を発見するまち歩きツアーを開催。	5月18日(土) 6月8日(土)	40	萩博物館企画展示室、 堀内エリア 14:00~16:00
ディーゼル列車で行く！ 海の危険生物ウォッキングツアーアー	山陰本線の列車で美しい海の風景と楽しみながらの萩北東部の江崎へ向かう。江崎に到着後、定置網にかかったサメ・オコゼなど「海の危険生物」をタッチ・観察。	8月9日(金) 8月18日(日)	87	東萩駅～江崎駅周辺 11:00～17:00
萩の鉄道物語り 萩のスペシャル列車ウォッキング	東萩駅や萩駅で特別な列車を見学、その後、とっておきの場所に移動して走行シーンを撮影。	9月15日(日) 10月20日(日)	40	Aプラン：東萩駅発 8:00～10:30 Bプラン：萩駅発 11:00～13:30
講演会「藩校明倫館の教育」	江戸時代教育研究の第一人者前田勉氏（愛知教育大教授）を講師に迎え、明倫館の教育方法など、最新の研究成果をもとにした講演会。	12月7日(土)	80	萩博物館講座室 13:30～15:00
萩の夏みかん物語りⅡ ギャラリートーク&まち歩き	担当学芸員による展示解説の後、長州藩上級武家の暮らしの痕跡を発見するまち歩きツアーを開催。	1月25日(土) 2月22日(土)	32	萩博物館企画展示室、 堀内エリア 14:00～16:00



ディーゼル列車で行く!  
海の危険生物ウォッチングツアー



夏の星空観望会スペシャル



萩のスペシャル列車ウォッチング



講演会「藩校明倫館の教育」

## 8. 収集・保管活動

平成27年度寄贈資料			赤川晚翠色紙		
久坂玄瑞書	個人	個人	古文書	個人	個人
1点			167点		
絵画「幕末・熱き心の女達」(内田青虹 作)			品川弥二郎書簡		
1点	個人				
品川弥二郎書	個人				
1幅	個人				
萩市大島浜村家使用の民俗資料	個人		平成28年度寄託資料		
背負い運搬具、農具等	個人		松林桂月 竹図、書状、年賀状		
約30点			各1点		個人
国司浩助氏関連資料					
絵葉書、書簡、写真等	個人		平成29年度寄贈資料		
22点			山県墨僊漢詩屏風		
古絵葉書	個人		襖下張り文書		個人
127点	個人				
萩婦人会修善女学校絵葉書	個人		古文書・器物(陸軍制服など)・古写真		
2枚	個人		314件		個人
書籍「Samurai and Silk」ほか2冊			昭和前期刊行本		
及びペリー日本遠征記念切手等			3件		個人
全5点	個人		古文書・古記録		
楫取家土地建物売渡證書、楫取公彌葉書	個人		26件		個人
			古写真(複写)		
志賀義雄色紙	個人		5件		個人
			山県有朋詩書掛軸		
山県有朋七言絶句1幅					
及び来島又兵衛関係史料1括	個人		伊藤博文・井上馨ほか集合写真		
					個人
平成27年度寄託資料			高島北海・長門峠関係資料		
松林桂月旧蔵資料			586件		個人
413点	個人		蝶標本		
第二奇兵隊指令旗、国行雑次郎書簡及び感謝状			57箱(348種5109点)		個人
各1点	個人				
太宰春台詩書	個人		平成29年度寄託資料		
1面	個人		高杉晋作書掛軸ほか		
平成28年度寄贈資料			3件		個人
和英対訳袖珍辞書(慶應2年改正増補版)	個人		松林桂月・雪貞ほかスケッチ		
			69件		個人
津田・田坂家資料	個人		平成30年度寄贈資料		
50点	個人		萩商業アルバム		

1件	個人	久米家・小倉家資料	
尖頭弾・線香入れ・蒸氣機関雛形ほか		15件 17点	個人
12件	個人	桂家資料	
郡司讃岐申遺状・荻生徂徠筆郡司火技序ほか		110件 281点	個人
22件	個人	添田寿一宛桂太郎書簡	
奥平家資料		1件 1点	個人
56件	個人	塩田家資料(当世武具・書籍など)	
松林桂月画幅		25件 54点	個人
1件	個人	久米家・小倉家資料(追加)	
村田清風四字書		11件 12点	個人
1件	個人	液浸標本	
木戸孝允関連資料		1,204件 4,307点	法人
11件	個人		
小隊教練書			
1件	個人	<b>平成31年／令和元年度寄託資料</b>	
長井雅楽関係資料		田總百山画幅	
55件	個人	1件 1点	個人
魚類標本		村田家資料	
238点	団体	89件 102点	個人
		瀧口家資料	
		75件 76点	個人

#### 平成30年度寄贈資料

和智東郊書・滝鶴台書	
2件	個人
田中義一ほか寄書	
1件	個人

#### 平成31年／令和元年度寄贈資料

柴田家門関係文書	
252件 281点	個人
山根正次関係資料	
86件 277点	個人
木戸孝允書簡ほか	
3件 3点	個人
松林桂月皇室関係資料	
14件 30点	個人
吉田松陰書簡ほか	
26件 29点	個人
毛利内匠宛加判役連署書状	
1件 1点	個人
赤川晚翠一行書ほか	
3件 5点	個人
十代三輪休雪作花入	
1件 1点	個人

## 9. 調査・研究活動

平成17年度から、学芸職員の研究や調査活動の成果を「萩博物館調査研究報告書」としてまとめ、年1回刊行している。以下は、その内容である。

### 第1号(平成17年度)

- 「天文教具の試作」 吉田恭一
- 「萩博物館所蔵の田中市郎氏寄贈生物標本目録(I):魚類」 堀 成夫
- 「萩藩主毛利家一門大野毛利家の上屋敷地の変遷について」 樋口尚樹
- 「田中宗昭氏寄贈資料における須佐益田家お抱え絵師・永富家に関する資料紹介」 上利英之

### 第2号(平成18年度)

- 「惑星儀の製作」 山根弘也
- 「萩市のカミキリムシ目録」 榎木博昭
- 「徳島県藍商の山口県関連取引資料」 清水満幸
- 「山根正次関係資料目録(一)」 道迫真吾
- 「史料紹介 坪井信友の青木周弼宛書簡」  
二宮陸雄・秋葉 實・道迫真吾

### 第3号(平成19年度)

- 「萩博物館開館3年間の総括と課題」 樋口尚樹
- 「萩博物館寄託『杉家文書』」  
井上 聰・村井祐樹

### 第4号(平成20年度)

- 「萩市における晴天率」 山根弘也・吉田恭一
- 「萩市のカミキリムシ目録II」 榎木博昭
- 「萩城跡指月山の植生の変遷について」  
樋口尚樹

### 第5号(平成21年度)

- 「萩博物館所蔵の田中市郎コレクション(I):魚類標本(2)」 堀 成夫
- 「萩・住吉祭りの夜見世」 清水満幸
- 「萩反射炉関連史料の調査報告(第一報)」 道迫真吾
- 「越後に存在する松陰史料」 一坂太郎

### 第6号(平成22年度)

- 「萩市周辺のアリモドキ科」 榎木博昭
- 「萩・住吉祭りの夜見世、その2」 清水満幸
- 「萩博物館所蔵樋崎頼三関係資料」 道迫真吾
- 「幕末維新遺墨帳覚書き」 一坂太郎

### 第7号(平成23年度)

- 「萩反射炉関連史料の調査研究報告(第二報)」 道迫真吾
- 「吉田稔麿のこと」 一坂太郎

### 第8号(平成24年度)

- 「萩博物館所蔵ナガスクジラ科鯨類頭骨標本の種同定」 中村 玄・堀 成夫・加藤秀弘
- 「萩地域の櫛から見えてくるもの」 清水満幸
- 「龍馬の「八策」の「前文」に関する一考察」 一坂太郎

### 第9号(平成25年度)

- 「2013年7月28日の大雨後の長磯(萩市須佐)の海底状況」 堀 成夫・稻村嘉彦
- 「萩市のテントウムシ科昆虫(節足動物門 昆虫綱 甲虫目)」 榎木博昭
- 「萩地域と日本の水産業近代化について~明治期の博覧会記録より(I)」 清水満幸

### 第10号(平成26年度)

- 「山口県日本海域の危険生物目録(I):外傷およびそれに附隨する症候をもたらすもの」  
堀 成夫・土井啓行・園山貴之  
荻本啓介・國森拓也・河野光久

### 第11号(平成27年度)

- 「萩地域と日本の水産業近代化について~明治期の博覧会記録より(II)」 清水満幸
- 「資料翻刻 萩博物館所蔵羽仁家文書中の「書置」(前編)」 平岡 崇

### 第12号(平成28年度)

- 「山口県日本海域の危険生物目録(II)自然毒による食中毒を起こしうるものー①巻貝類(軟体

動物門:腹足綱)」

堀 成夫・河野光久・園山貴之  
國森拓也・荻本啓介・椋木博昭

**第13号(平成29年度)**

- 「萩博物館所蔵山尾庸三関係資料－翻刻と目録  
(抄)－」 道迫真吾
- 「資料翻刻 萩博物館所蔵羽仁家文書中の「書  
置」(後編)」 平岡 崇

**第14号(平成30年度)**

- 「萩博物館所蔵のアリ科昆虫標本目録」  
椋木博昭・辻 雄介
- 「萩博物館収蔵 藩校明倫館関係資料目録  
(一)」 平岡 崇

**第15号(令和元年度)**

- 「山口県日本海域の危険生物目録(Ⅲ)自然毒に  
よる食中毒を起こしうるもの -②二枚貝綱  
(軟体動物門:二枚貝綱)」

堀 成夫・河野光久・園山貴之  
荻本啓介・椋木博昭

## 10. まちじゅう博物館とのかかわり

平成16年（2004）11月に開館した萩博物館は、「萩まちじゅう博物館構想」（以下では「まち博構想」）の中核施設としての役割を持つ。萩市は萩博物館の開館に合わせて、まち全体を「屋根のない博物館」と見立てた「まち博構想」を策定し、萩博物館は社会教育施設としての役割のみならず、まちづくりや観光振興の面でも大きく貢献してきたのだ。

しかしながら、萩博物館開館と「まち博構想」策定から15年以上が経過し、さまざまな課題が出てきた。たとえば、①平成17年3月の広域合併により誕生した新萩市全域との関係強化、②世界遺産登録や日本ジオパーク認定など新たな魅力・資源の活用、③平成29年3月に開館した萩・明倫学舎との連携と役割分担、④急激な人口減少をはじめとした社会環境の変化に対する持続可能な地域づくりへの貢献、⑤資料や事柄の調査・記録・整理などを市民協働で中長期的に継続していくまでの理想的かつ現実的な方法の考案などが挙げられ

よう。こうした状況も踏まえつつ、令和2年（2020）には「まち博構想」が改訂された。

萩博物館では令和2年現在、上記に掲げた課題の①については、常設展示「人と自然の展示室」において地域特集展示（須佐・大井・三見など）を組み、これまで萩三角州（旧萩城下町）に特化しがちであった部分の是正に取り組み始めた。②については、常設展示「歴史展示室」で、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「萩城下町」の魅力と価値を伝える展示に更新とともに、「人と自然の展示室」においてジオ関連情報も増強した。③④⑤については、まだ具体性な方策を打つ段階に至っていないが、至急これらについても計画立てて実行に移す必要がある。「まち博構想」のさらなる浸透・普及に向けて進化し続けていきたい。

## 11. 今後の課題

### （1）展示に関すること

- ・来館者の満足度を高めるための特別展・企画展の実施。
- ・多種多様な収蔵資料を活用するため、さまざまなテーマを設定した展示のパック化。
- ・学芸職員の継続的・日常的な調査・研究活動の充実と、それを反映した展覧会の開催。
- ・萩市全域を対象とした市民参加型の地域特集展示の実施。
- ・総じて職員が展示にかける時間・労力が肥大化した状態が続いているため、展示そのものの「在り方」の再検討と、テーマ考案から企画、制作、運営をより効率的に遂行できる方法の模索。

### （2）教育普及に関すること

- ・博物館利用を促進するため、小・中学校などの教職員向けのガイダンスや研修会の開催。
- ・常設展示室などに設置する小・中学生向けのワークシートの作成。

### （3）収集・保管に関すること

- ・収蔵資料の有効な活用のための整理・調査とデータベース化・デジタルアーカイブ化。
- ・予算・時間・労力の問題から職員だけの資料整理には限界があるため、外部との連携や分野に関心のある市民や有志等との連携による実効性のある作業方法の考案。

### （4）調査・研究に関すること

- ・体系的な調査・研究の成果を展示や教育普及活動に還元するため、各分野における調査・研究の長期的なテーマと一年ごとのテーマの設定、及び継続性の担保。

## 博物館職員の動向

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度			
館 長	山本 章三 (26.4~28.3)		田中 裕 (28.4~29.3)	清水 満幸 (29.4~R2.3)	大槻 洋二 (R2.4~)					
副 館 長	清水 満幸 (26.4~29.3)									
常 勤				渡邊 裕子 (館長補佐 29.4~31.3)						
	池永 賢 (庶務係長 26.1~29.3)			國弘 昌義 (庶務係長 29.4~30.3)	上野 耕太郎 (庶務係長 31.4~R2.3)		國弘 昌義 (庶務係長 R2.4~)			
事 務 職 員	伊藤靖子 (庶務係員 21.4~26.10)	國弘 昌義 (庶務係員 27.4~29.3)								
				島本 裕代 (庶務係員 28.4~R2.9)	吉村星奈 (庶務係員 R2.10~)					
兼 務	金田 農 (庶務係員 26.7~27.3)									
	國光知広 (庶務係員 26.7~27.3)									
非 常 勤	佐伯温香 (臨時職員 26.8~27.3)	小原 昌子 (臨時職員 27.4~28.3)	服部 晶子 (臨時職員 28.4~29.3)	岸 めぐみ (臨時職員 29.4~30.3)	服部 緑 (臨時職員 30.5~31.3)	河原朋子 (臨時職員 31.4~R1.9)	山田 愛子 (臨時職員 R1.10~R2.3、 会計年度任用職員R2.4~)			
	服部晶子 (臨時職員 26.10~27.3)									
常 勤	樋口 尚樹 (学芸専門監 26.4~27.3)									
	清水 満幸 (生活文化担当 16.11~R2.3)									
學 芸 職 員	道迫 真吾 (歴史担当:主任学芸員 26.4~31.3)				道迫 真吾 (歴史担当:総括学芸員 31.4~)					
				平岡 崇 (歴史担当:学芸員 27.4~)	松尾 優平 (生活文化担当:学芸班 R2.4~)					
非 常 勤	堀 成夫 (海洋生物担当:主任研究員 21.4~30.3)				堀 成夫 (海洋生物担当:総括研究員 30.4~)					
					川原 康寛 (陸上生物担当:学芸員 30.4~)					
非 常 勤	一坂 太郎 (歴史担当:16.11~)									
				樋口 尚樹 (歴史担当:27.4~)	清水 満幸 (生活文化担当 R2.4~)					
非 常 勤	椋木 博昭 (陸生生物担当:16.11~R2.10)									
	吉田 恒一 (天文指導員:21.7~)									
非 常 勤	廣兼 哲朗 (天文指導員:24.4~)									

---

令和3年(2021)3月25日 発行

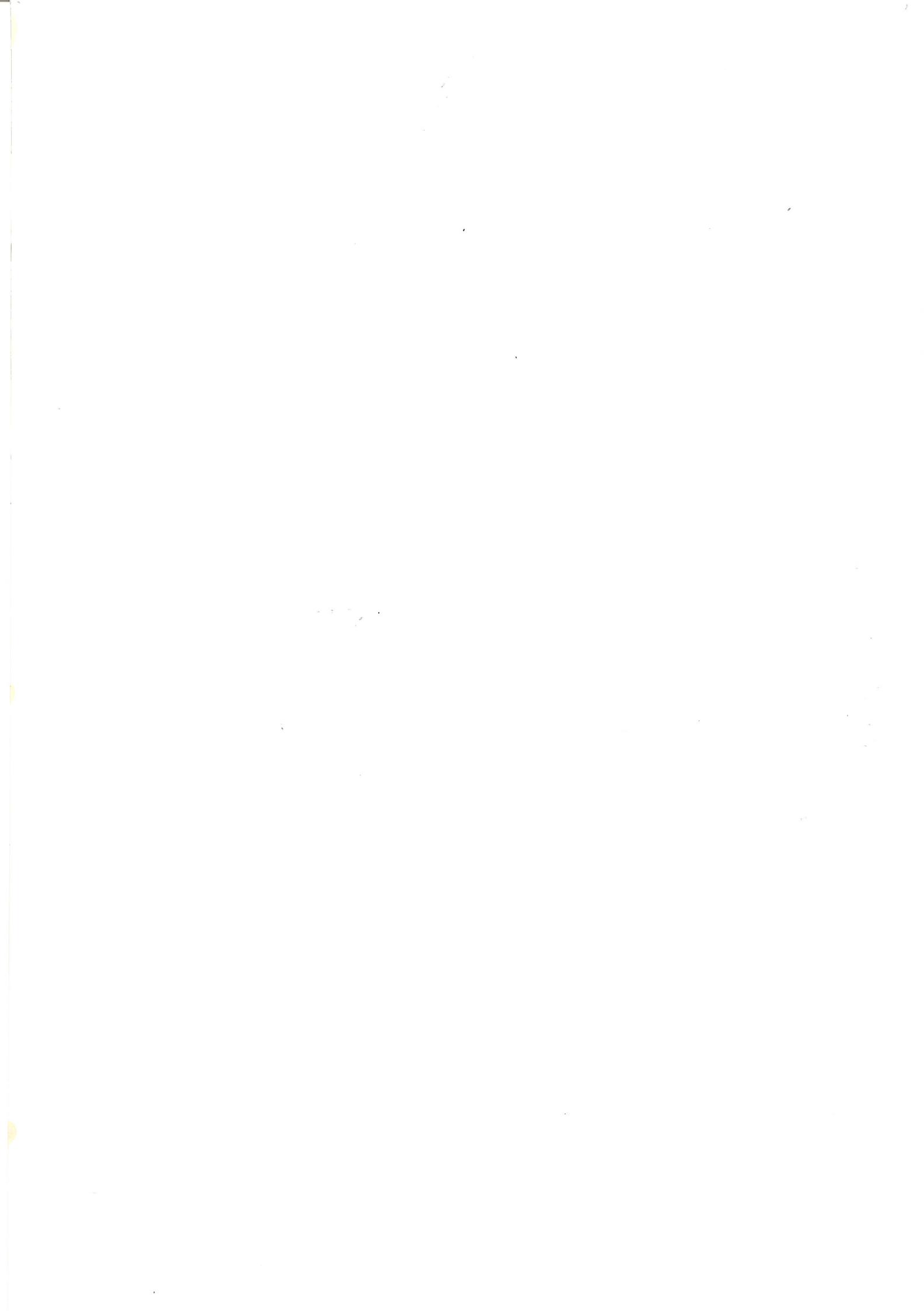
萩博物館  
開館15周年記念誌  
5年間の歩み

発行 萩博物館  
萩市堀内355  
印刷 (有)マシヤマ印刷  
萩市椿3732-7

---

裏表紙イラスト：國本ゆうじ







萩博物館と萩のまち



Hagi Hakubutsukan

萩博物館